

2025年12月期

# 決算説明会資料

---

2026年2月13日

株式会社 日本アクア



証券コード 1429

# 決算ハイライト

売上高は33,670百万円。前年比で11.3%の2桁増収を達成できました。  
戸建部門では、広域展開ビルダーや大手ビルダーからの受注増に加え、シェア拡大戦略が奏功しました。建築物部門は安定的に推移し、防水部門では大型案件の獲得により売上高が2倍強となるなど、事業ポートフォリオの多様化が進みました。

売上高				
33,670 百万円	前年	30,265 百万円	+11.3 %	
	予想	34,360 百万円	△2.0 %	
売上総利益				
7,738 百万円	前年	6,862 百万円	+12.8 %	
	予想	7,843 百万円	△1.3 %	
経常利益				
2,794 百万円	前年	2,604 百万円	+7.3 %	
	予想	3,062 百万円	△8.8 %	



戸建部門売上高

15,765 百万円

前年 13,704 百万円  
+15.0 %

予想 14,435 百万円  
+9.2 %

- ・ 広域展開ビルダーや大手ビルダーの受注が上振れ
- ・ シェア拡大戦略が奏功し新規受注が増加
- ・ 等級6以上への関心が高まる



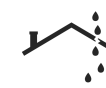
建築物部門売上高

9,896 百万円

前年 9,499 百万円  
+4.2 %

予想 11,881 百万円  
△16.7 %

- ・ 一部大型案件に遅れが生じたものの、全体としては安定的に推移
- ・ 着工の遅れは2026年度後半から改善見込み
- ・ 案件豊富で受注は堅調



防水部門・その他売上高

8,009 百万円

前年 7,062 百万円  
+13.4 %

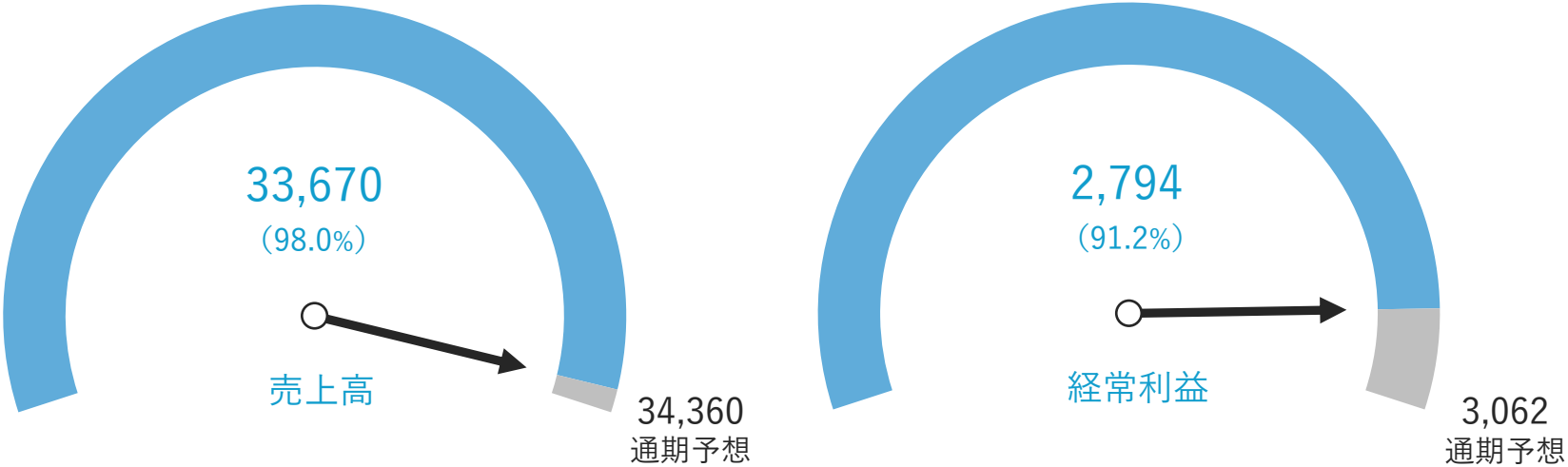
予想 8,043 百万円  
△0.0 %

## 防水部門

- ・ 非住宅の改修案件のリピート化が進む
- ・ 実績の広がりに伴い新規改修案件を獲得
- ・ 新築集合住宅の施工が増加

# 業績予想に対する結果

(単位：百万円)



	売上高					経常利益				
	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
通期実績	23,903	25,670	28,341	28,341	33,670	1,429	2,359	2,917	2,604	2,794
達成率	101.7%	96.9%	97.7%	91.4%	98.0%	71.4%	111.3%	106.1%	84.0%	91.2%
期初通期予想	23,513	26,490	29,021	31,005	34,360	2,003	2,121	2,750	3,100	3,062

## 業績予想

戸建部門では、最重点ビルダーを中心とした受注拡大を継続するとともに、「まるっとアクアフォーム」等の提案強化を通じて受注単価の向上を図ります。建築物部門は、大型工事の端境期となることから中小型物件の獲得に注力し、受注の安定化を目指します。さらに、防水部門では体制強化を進めながら、リピート案件を含む非住宅の大型物件の獲得を推進します。

売上高

37,000 百万円 前年 33,670 百万円 +9.9 %

売上総利益

8,177 百万円 前年 7,738 百万円 +5.7 %

経常利益

2,910 百万円 前年 2,604 百万円 +11.7 %



戸建部門売上高

17,097 百万円

前年 15,765 百万円  
+8.5 %

- ・ 広域展開ビルダーや大型ビルダー等の好調続く
- ・ 等級6以上の高断熱ニーズが高まる
- ・ 気密測定サービスや「まるっとアクアフォーム」の拡販による単価向上

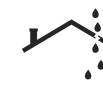


建築物部門売上高

10,948 百万円

前年 9,896 百万円  
+10.6 %

- ・ 設計変更や着工判断遅れの影響により大型工事の着工は2026年後半から2027年以降に
- ・ 中小型物件の獲得に注力
- ・ 追加工事獲得や仕様変更対応の強化



防水部門・その他売上高



8,954 百万円

前年 8,009 百万円  
+11.8 %

防水部門

- ・ 非住宅改修のリピート案件増加
- ・ 新築集合住宅の施工が増加
- ・ 国家的重要施設案件を通じた認知度向上

## 1 株当たり配当金

2025年12月期  
1 株当たり配当金  
**35.0円**  
配当性向 58.9%  
2024年実績 34.0円

2026年12月期 予想  
1 株当たり配当金  
**35.0円**  
配当性向 56.6%

- ・ 累進配当制度を導入
- ・ 配当性向50%以上を継続
- ・ 中期経営計画では2026年度配当金を36円としていましたが、利益見通しの変更を踏まえ、35円とする予定です。

---

# Agenda

01 2025年12月期 決算概要

02 2026年12月期 予想

03 部門別業績と今後の展開

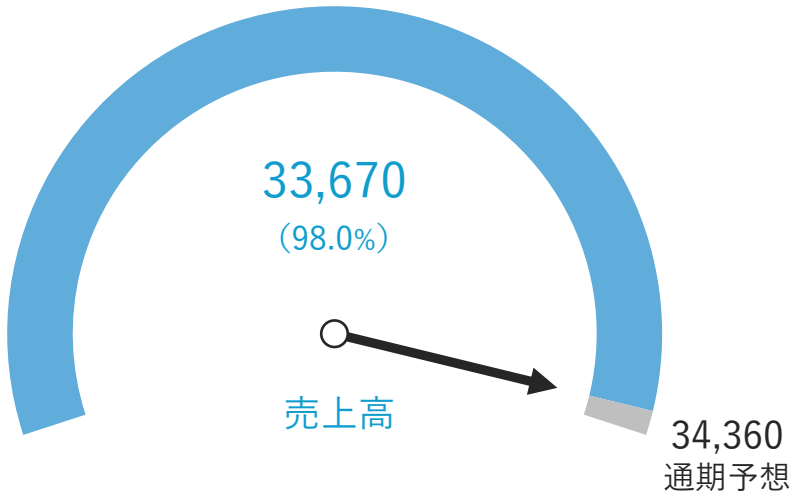
04 Appendix

2025年12月期

# 売上高

33,670 百万円

前年	30,265 百万円	予想	34,360 百万円
増減額	+3,405 百万円	増減額	△689 百万円
増減率	+11.3 %	増減率	△2.0 %



	FY2024	FY2025		FY2025 実績					FY2025 予想					
	累計	累計	YoY	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	予想比
売上高	30,265	33,670	+3,405	7,501	8,481	8,305	9,382	33,670	7,247	8,332	8,802	9,978	34,360	△689
戸建	13,704	15,765	+2,061	3,669	3,879	3,751	4,465	15,765	3,140	3,466	3,538	4,290	14,435	+1,330
建築物	9,499	9,896	+397	2,362	2,453	2,395	2,684	9,896	2,484	2,899	3,073	3,423	11,881	△1,985
防水	719	1,515	+795	159	466	485	404	1,515	212	324	382	582	1,500	+15
原料販売	2,226	2,072	△154	394	490	535	652	2,072	503	544	625	726	2,398	△325
機械・副資材・その他	4,115	4,420	+305	916	1,192	1,137	1,174	4,420	907	1,098	1,183	955	4,145	+275

2025年12月期

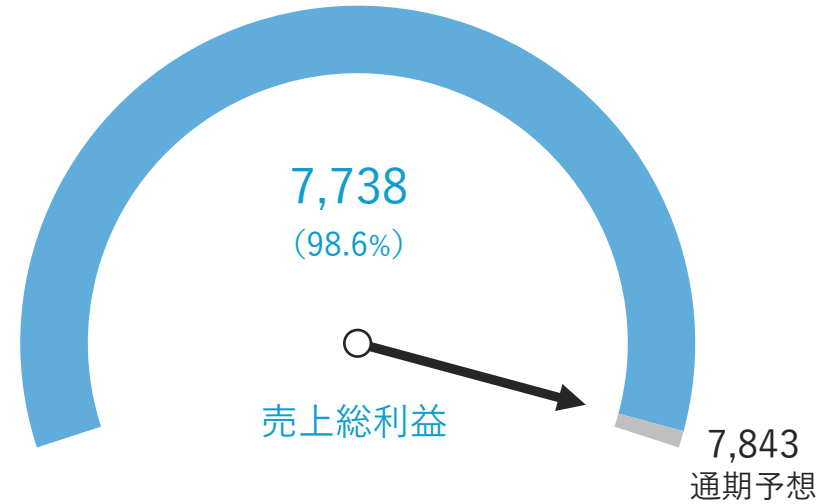
## 売上総利益

7,738 百万円

前年	6,862 百万円	予想	7,843 百万円
増減額	+876 百万円	増減額	△104 百万円
増減率	+12.8 %	増減率	△1.3 %

売上総利益率 **23.0 %**

前年	22.7 %	予想	22.8 %
----	--------	----	--------



	FY2024	FY2025		FY2025 実績					FY2025 予想					
	累計	累計	YoY	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	予想比
売上総利益	6,862	7,738	+876	1,634	1,858	1,899	2,346	7,738	1,587	1,911	2,029	2,314	7,843	△104
戸建	3,196	3,557	+360	803	852	825	1,076	3,557	703	797	820	1,051	3,373	+183
建築物	2,329	2,353	+23	520	549	559	723	2,353	571	697	742	841	2,853	△499
防水	△22	223	+245	12	47	89	74	223	△1	32	45	66	143	+79
原料販売	372	409	+36	78	93	109	128	409	84	92	108	127	412	△3
機械・副資材・その他	984	1,195	+210	219	316	315	344	1,195	229	292	311	226	1,060	+135



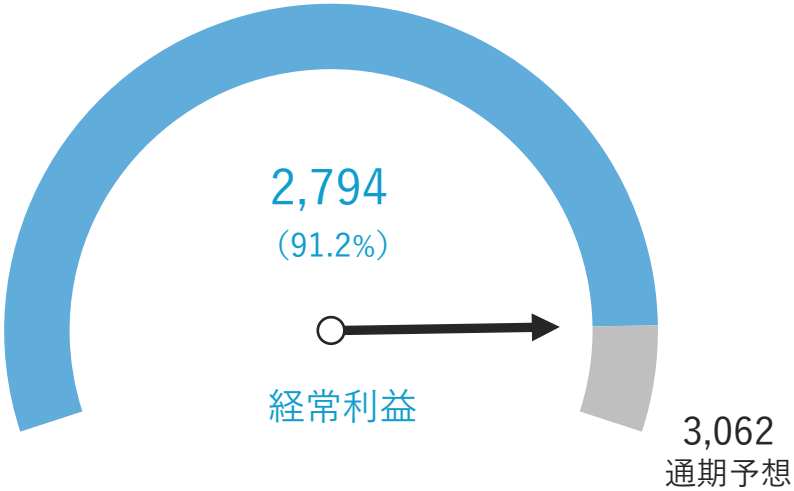
2025年12月期

# 経常利益

2,794 百万円

前年	2,604 百万円	予想	3,062 百万円
増減額	+189 百万円	増減額	△268 百万円
増減率	+7.3 %	増減率	△8.8 %

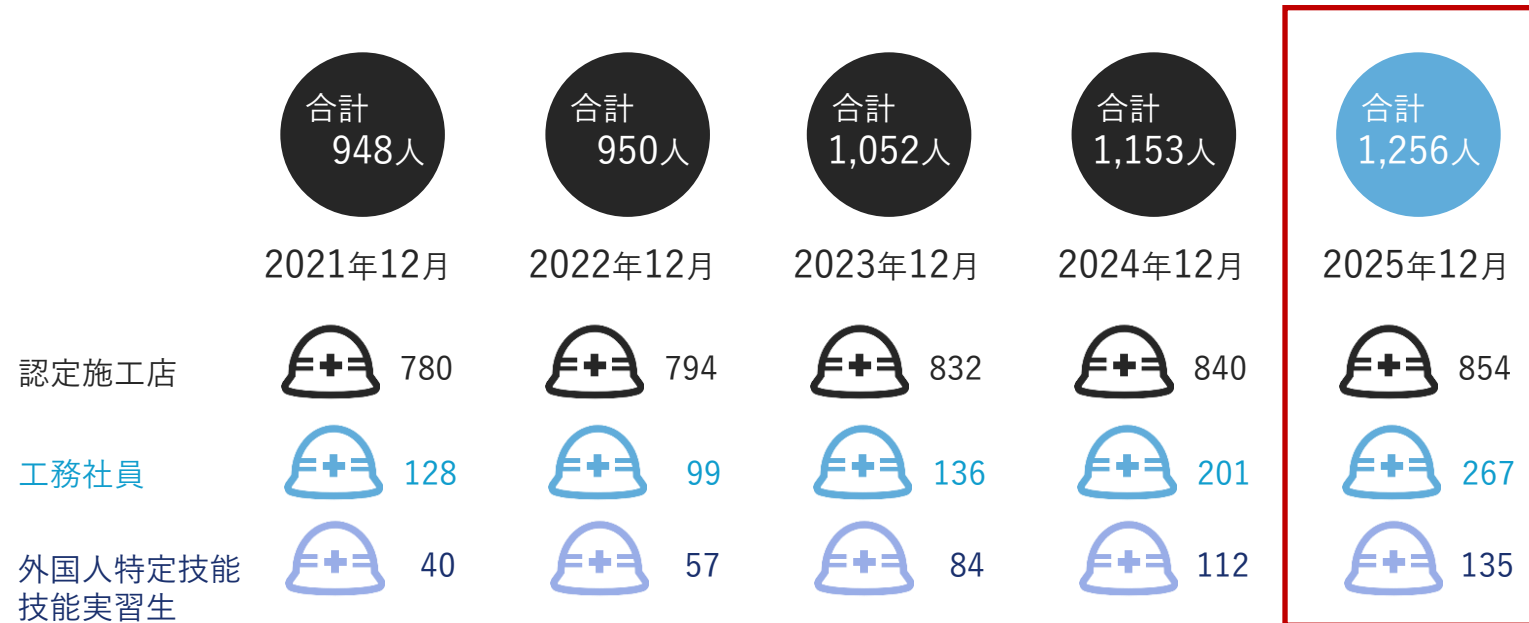
経常利益率	8.3 %
前年	8.6 %
予想	8.9 %



	FY2024	FY2025		FY2025 実績					FY2025 予想					
	累計	累計	YoY	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	予想比
販売費及び一般管理費	4,286	4,964	+677	1,107	1,293	1,250	1,312	4,964	1,141	1,266	1,220	1,210	4,838	+125
人件費	2,296	2,487	+191	574	672	644	596	2,487	573	673	624	630	2,502	△14
実習生関連費	423	634	+211	137	141	165	189	634	111	137	130	133	512	+121
旅費交通費	236	246	+9	59	58	59	68	246	64	64	64	64	258	△11
地代家賃	221	285	+64	66	71	71	74	285	61	61	61	61	245	+39
減価償却費	173	162	△10	41	40	40	40	162	54	56	59	60	231	△68
経常利益	2,604	2,794	+189	529	572	651	1,040	2,794	456	658	825	1,122	3,062	△268

## 施工力の推移

- ・ 施工体制方針：競合と比較し、質・量の両面で圧倒的な体制構築を目指す
- ・ 人員増強の取り組み：2023年以降、認定施工店社員を含め、年間100名規模の増員を継続



# 原料価格の感応度

米ドル月中平均  
(単位：円)



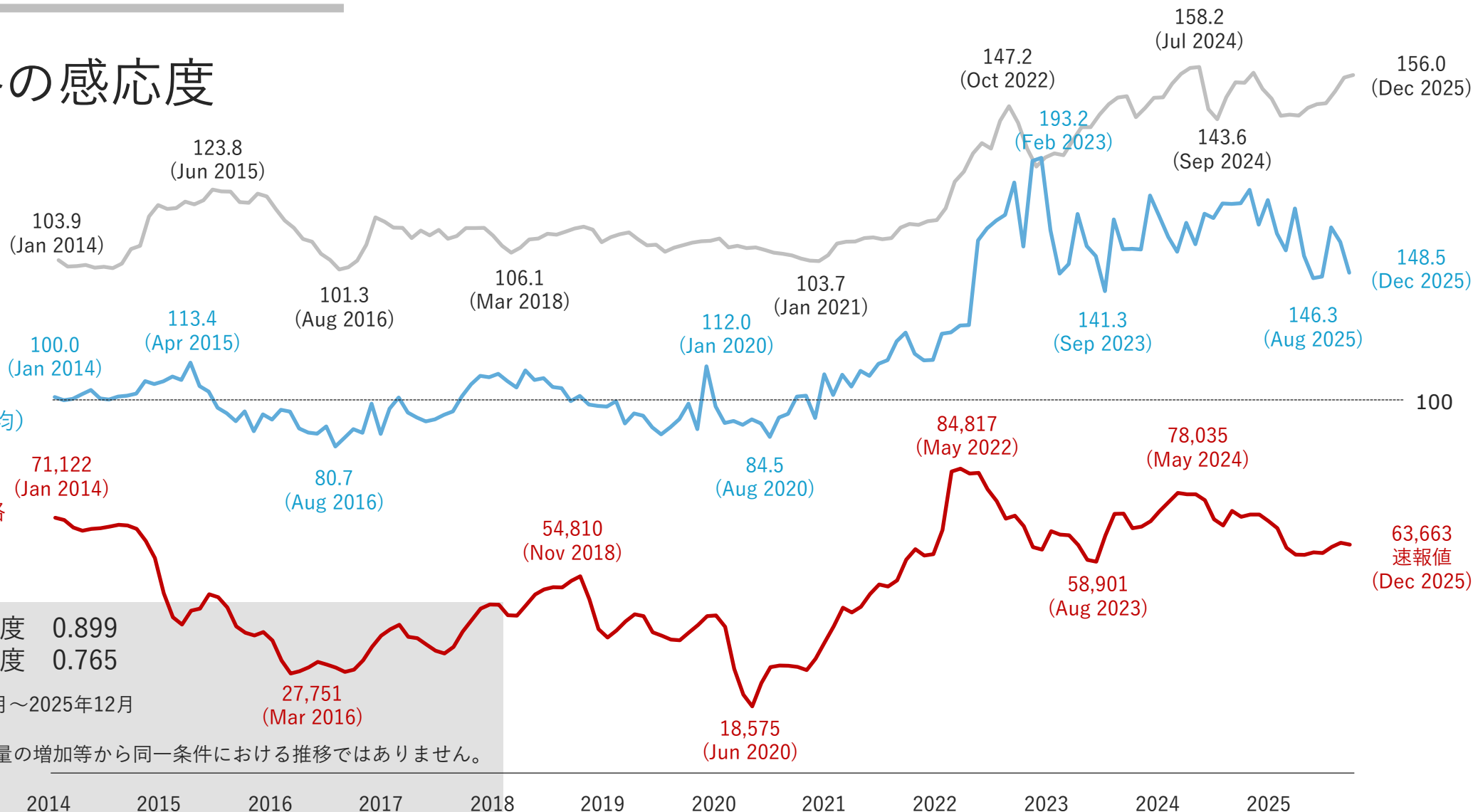
原料購入単価 (平均)  
2014年1月 = 100

ナフサ輸入CIF価格  
(単位：円/kl)

米ドルとの感応度 0.899  
ナフサとの感応度 0.765

推計期間：2014年1月～2025年12月

取扱商品および購入量の増加等から同一条件における推移ではありません。



## 業績概要

(単位：百万円、%)

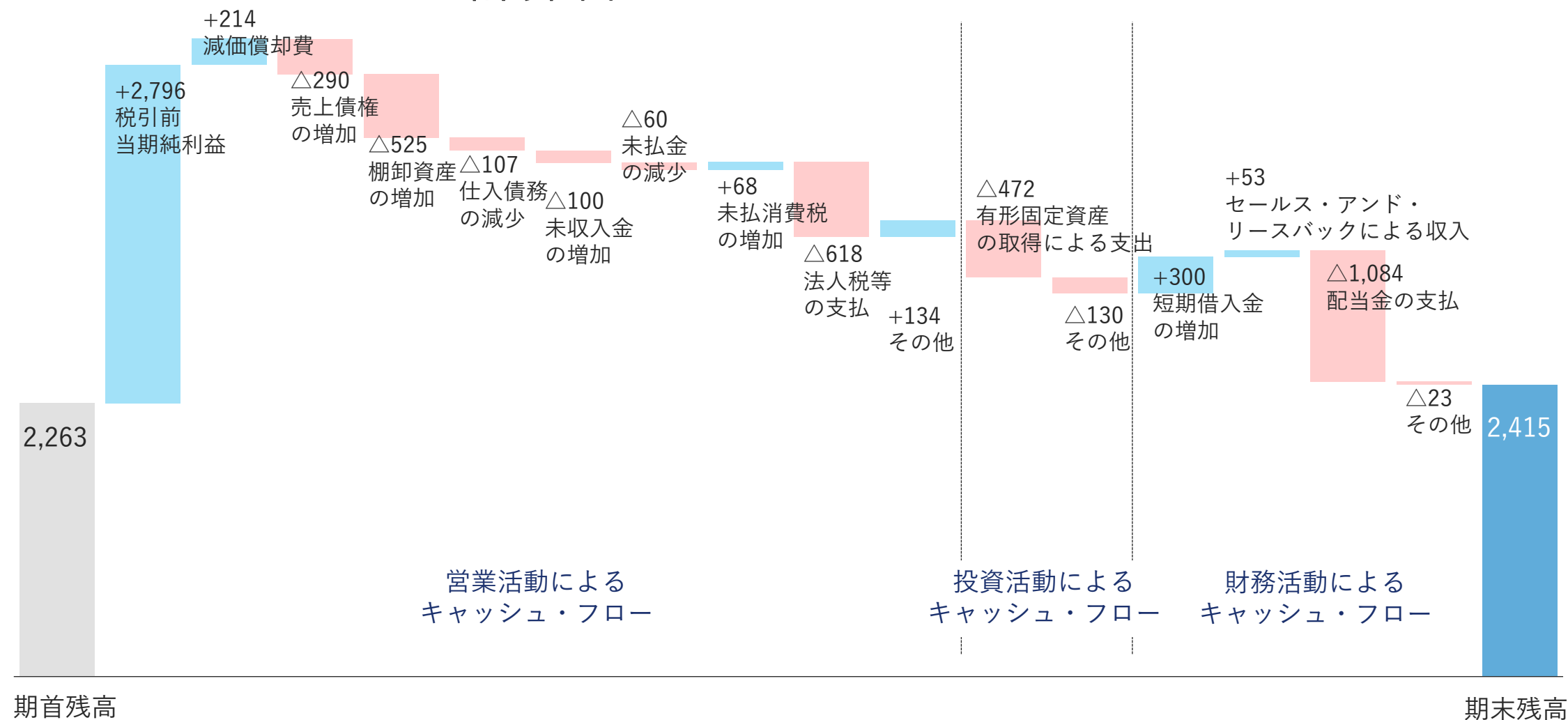
	2024年	2025年	前年同期比		2025年予想比		
	通期	通期	金額	(%)	予想	金額	(%)
売上高	30,265	33,670	+3,405	+11.3	34,360	△689	△2.0
戸建	13,704	15,765	+2,061	+15.0	14,435	+1,330	+9.2
建築物	9,499	9,896	+397	+4.2	11,881	△1,985	△16.7
防水	719	1,515	+795	+110.5	1,500	+15	+1.0
原料販売	2,226	2,072	△154	△6.9	2,398	△325	△13.6
副資材・機械・その他	4,115	4,420	+305	+7.4	4,145	+275	+6.6
売上原価	23,403	25,932	+2,529	+10.8	26,517	△585	△2.2
売上総利益	6,862	7,738	+876	+12.8	7,843	△104	△1.3
戸建	3,196	3,557	+360	+11.3	3,373	+183	+5.4
建築物	2,329	2,353	+23	+1.0	2,853	△499	△17.5
防水	△22	+223	+245	-	143	+79	+55.5
原料販売	372	409	+36	+9.8	412	△3	△0.8
副資材・機械・その他	984	1,195	+210	+21.4	1,060	+135	+12.7
販売費及び一般管理費	4,286	4,964	+677	+15.8	4,838	+125	+2.6
営業利益	2,575	2,774	+198	+7.7	3,004	△230	△7.7
経常利益	2,604	2,794	+189	+7.3	3,062	△268	△8.8
当期純利益	1,839	1,895	+56	+3.1	2,067	△171	△8.3
1株当たり配当金（円）	34.0	35.0	+1.0		35.0	+0.0	

# 貸借対照表 (単位：百万円)

	2024年 12月31日	2025年 12月31日		2024年 12月31日	2025年 12月31日
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	2,263	2,415	買掛金	7,556	7,528
受取手形、売掛金及び契約資産	8,117	7,977	短期借入金	4,500	4,800
電子記録債権	1,142	1,434	流動負債合計	13,415	14,090
棚卸資産	2,222	2,890	固定負債		
未収入金	4,853	5,032	固定負債合計	109	85
流動資産合計	18,819	20,015	負債合計	13,525	14,176
固定資産			純資産の部		
有形固定資産	4,271	4,480	資本金	1,903	1,903
無形固定資産	79	88	資本剰余金	2,015	2,097
投資その他の資産	900	1,226	利益剰余金	8,357	9,168
固定資産合計	5,251	5,795	自己株式	△1,731	△1,536
資産合計	24,071	25,810	純資産合計	10,545	11,633
			負債純資産合計	24,071	25,810

# キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



---

## Agenda

01 2025年12月期 決算概要

02 2026年12月期 予想

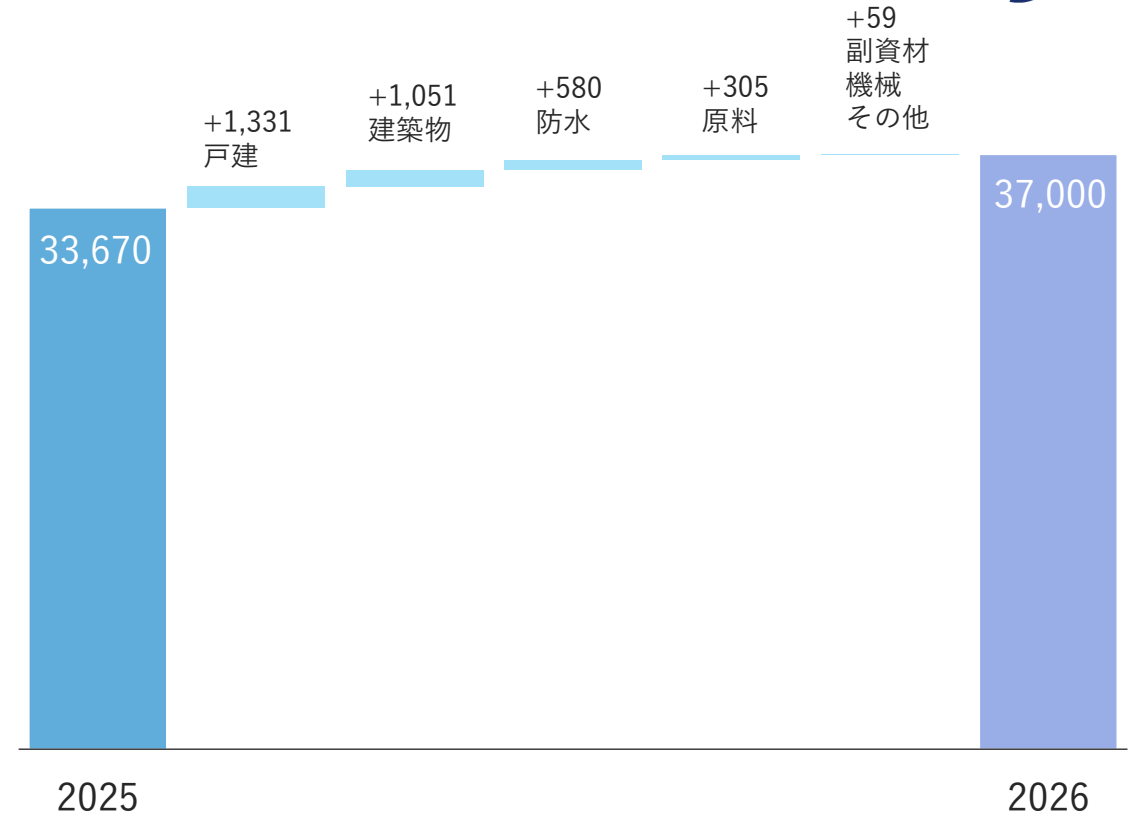
03 部門別業績と今後の展開

04 Appendix

2026年12月期 予想

# 売上高

37,000 百万円  
前年 33,670 百万円  
増減額 +3,329 百万円  
増減率 +9.9 %



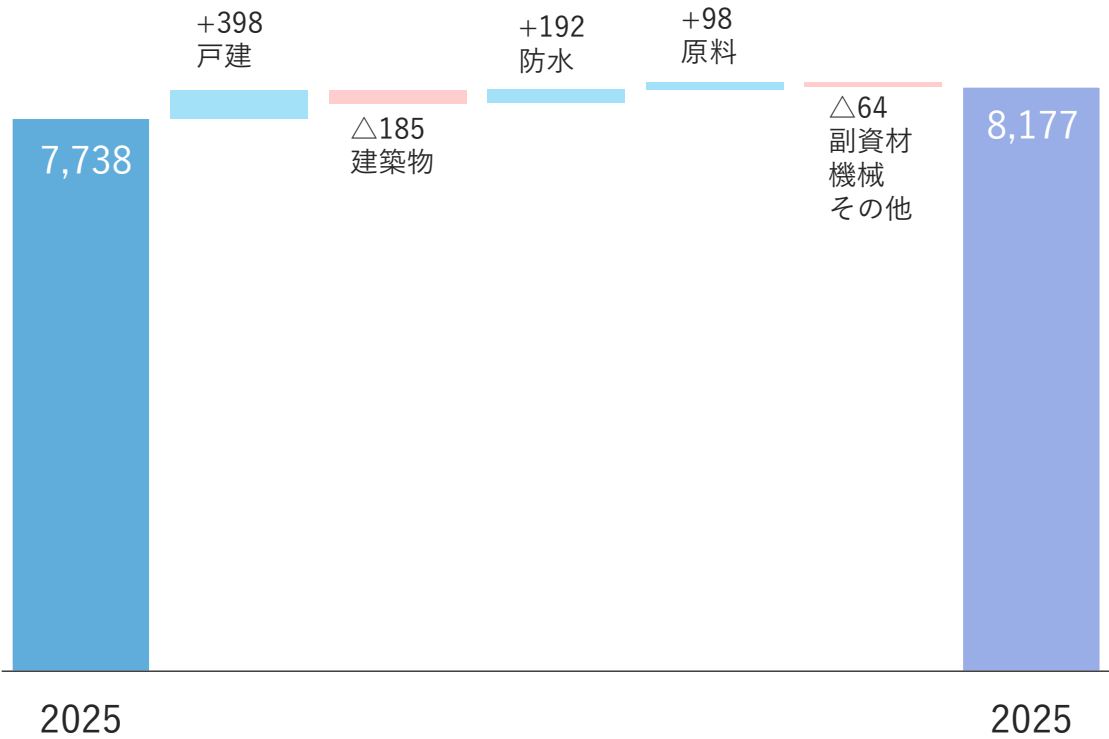
	FY2024					FY2025					FY2026 (予想)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	6,272	6,840	7,705	9,447	30,265	7,501	8,481	8,305	9,382	33,670	7,279	8,641	9,205	11,873	37,000
戸建	2,985	3,276	3,421	4,020	13,704	3,669	3,879	3,751	4,465	15,765	3,765	4,225	4,075	5,031	17,097
建築物	1,929	2,064	2,460	3,044	9,499	2,362	2,453	2,395	2,684	9,896	1,980	2,294	2,779	3,894	10,948
防水	136	124	174	284	719	159	466	485	404	1,515	249	509	574	762	2,096
原料販売	414	507	510	794	2,226	394	490	535	652	2,072	443	545	634	754	2,377
機械・副資材・その他	807	866	1,137	1,303	4,115	916	1,192	1,137	1,174	4,420	841	1,067	1,141	1,429	4,480



2026年12月期 予想

# 売上総利益

8,177 百万円 増減額 +438 百万円  
 前年 7,738 百万円 増減率 +5.7 %  
 売上総利益率 23.0 % ▶ 22.1 %

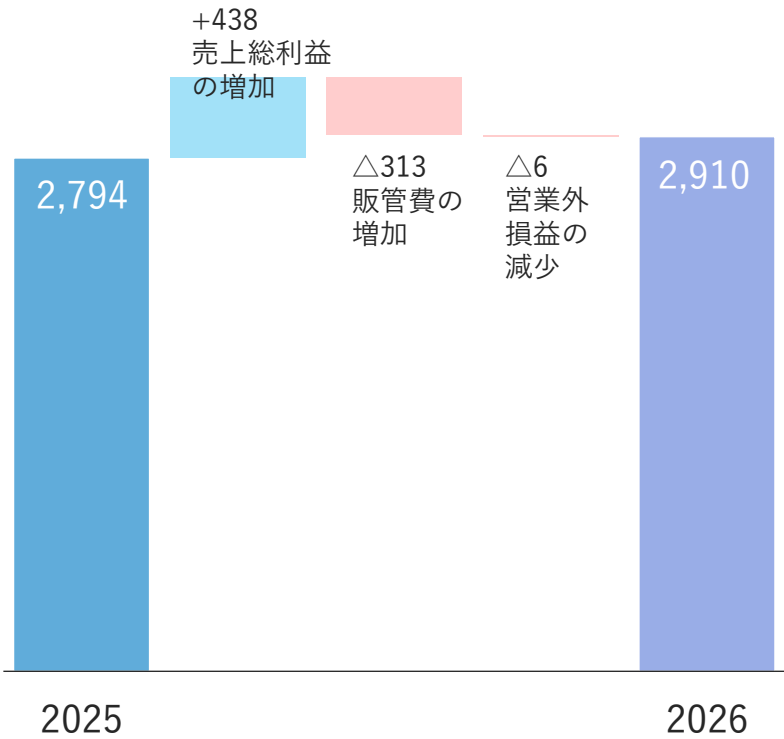


	FY2024					FY2025					FY2026 (予想)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上総利益	1,447	1,459	1,765	2,189	6,862	1,634	1,858	1,899	2,346	7,738	1,543	1,884	2,069	2,680	8,177
戸建	730	777	778	909	3,196	803	852	825	1,076	3,557	830	944	964	1,217	3,955
建築物	454	443	583	847	2,329	520	549	559	723	2,353	372	457	559	777	2,167
防水	2	△10	0	△15	△22	12	47	89	74	223	48	100	113	153	415
原料販売	74	89	89	118	372	78	93	109	128	409	94	116	135	161	508
機械・副資材・その他	181	162	312	328	984	219	316	315	344	1,195	197	265	297	370	1,130

2026年12月期 予想

# 経常利益

2,910 百万円  
 前年 2,794 百万円  
 増減額 +115 百万円  
 増減率 +4.1 %  
 経常利益率 8.3 % ▶ 7.9 %



	FY2024					FY2025					FY2026 (予想)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
販売費及び一般管理費	1,002	1,055	1,093	1,135	4,286	1,107	1,293	1,250	1,312	4,964	1,236	1,353	1,331	1,355	5,277
人件費	557	577	576	585	2,296	574	672	644	596	2,487	628	722	649	636	2,635
実習生関連費	72	93	113	144	423	137	141	165	189	634	225	218	224	225	893
旅費交通費	53	58	65	59	236	59	58	59	68	246	67	67	67	67	271
地代家賃	49	55	55	61	221	66	71	71	74	285	76	76	76	76	306
減価償却費	41	43	43	44	173	41	40	40	40	162	46	48	51	53	199
経常利益	453	415	679	1,055	2,604	529	572	651	1,040	2,794	310	534	741	1,323	2,910

2026年12月期 予想

2026年12月期 予想

売上高	37,000 百万円		37,000 百万円
売上総利益	8,600 百万円	▶	8,177 百万円
売上総利益率	23.2 %		22.1 %
経常利益	3,405 百万円		2,910 百万円
経常利益率	9.2 %		7.9 %

大型建設工事における着工遅延や計画見直しの影響により、2025年度の施工量が当初想定を下回ったことから、2026年度の業績予想を見直しました。

本見直しは施工時期の後ろ倒しによる一時的な影響を反映したものであり、中長期的な成長戦略や株主還元方針に変更はありません。

## 中期経営計画 最終年度との比較



戸建部門

売上高	14,800百万円	▶	17,097百万円
売上総利益率	24.0 %		23.1 %



建築物部門

売上高	13,500百万円	▶	10,948百万円
売上総利益率	24.0 %		19.8 %



防水部門

売上高	2,000百万円	▶	2,096百万円
売上総利益率	11.0 %		19.8 %



原料販売／副資材・機械・その他

売上高	6,700百万円	▶	6,858百万円
売上総利益率	23.7 %		23.9 %

# 業績予想

(単位：百万円、%)

	2025年実績				2026年予想				前年比	
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	通期	1Q累計	2Q累計	3Q累計	通期	金額	(%)
売上高	7,501	15,983	24,288	33,670	7,279	15,921	25,126	37,000	+3,329	+9.9
戸建	3,669	7,548	11,299	15,765	3,765	7,990	12,066	17,097	+1,332	+8.5
建築物	2,362	4,815	7,211	9,896	1,980	4,274	7,053	10,948	+1,051	+10.6
防水	159	625	1,111	1,515	249	759	1,333	2,096	+580	+38.3
原料販売	394	884	1,420	2,072	443	988	1,623	2,377	+305	+14.7
副資材・機械・その他	916	2,108	3,246	4,420	841	1,909	3,050	4,480	+59	+1.4
売上原価	5,867	12,490	18,896	25,932	5,736	12,493	19,629	28,822	+2,890	+11.1
売上総利益	1,634	3,492	5,391	7,738	1,543	3,427	5,497	8,177	+438	+5.7
戸建	803	1,655	2,480	3,557	830	1,774	2,738	3,955	+398	+11.2
建築物	520	1,069	1,629	2,353	372	830	1,390	2,167	△185	△7.9
防水	12	59	148	223	48	148	261	415	+192	+86.3
原料販売	78	171	281	409	94	211	346	508	+98	+24.1
副資材・機械・その他	219	535	851	1,195	197	462	759	1,130	△64	△5.4
販売費及び一般管理費	1,107	2,400	3,651	4,964	1,236	2,589	3,921	5,277	+313	+6.3
営業利益	526	1,091	1,740	2,774	306	837	1,575	2,900	+125	+4.5
経常利益	529	1,102	1,753	2,794	310	845	1,586	2,910	+115	+4.1
当期純利益	359	748	1,186	1,895	210	572	1,075	1,972	+77	+4.1
1株当たり配当金 (円)				35.0				35.0	+0.0	

---

## Agenda

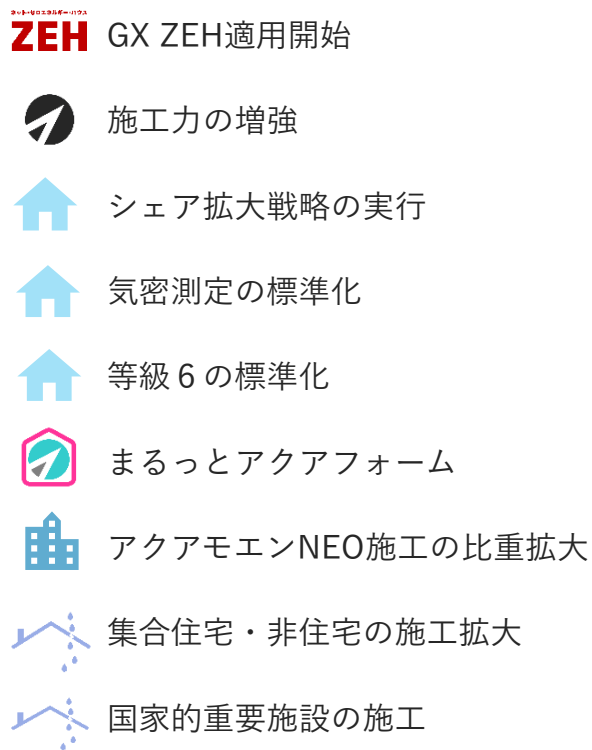
01 2025年12月期 決算概要

02 2026年12月期 予想

03 部門別業績と今後の展開

04 Appendix

## 重点施策の展望



# 戸建部門

2025年12月期 前年 13,704 百万円  
 前年比 2,061 百万円 +15.0 %  
 15,765 百万円 売上総利益率 23.3 % ▶ 22.6 %

2026年12月期予想 前年 15,765 百万円  
 前年比 +1,332 百万円 +8.5 %  
 17,097 百万円 売上総利益率 22.6 % ▶ 23.1 %

施工棟数  
数量効果



- ・数量効果：1,523百万円
- ・広域展開ビルダー：受注が大幅増
- ・大手ビルダー（新規大口先）：2024年12月から受注が本格化

- ・数量効果：715百万円
- ・広域展開ビルダー：好調推移、受注量も増加傾向
- ・大手ビルダーは受注量も増加傾向、気密測定を開始
- ・高気密・高断熱＝吹付ウレタンの認識向上

施工単価  
価格効果



- ・価格効果：537百万円
- ・断熱等級6：全施工のうち約15%\*
- ・気密測定サービス：全施工のうち24%
- ・シェア拡大に向け価格戦略を実施

- ・価格効果：616百万円
- ・断熱等級6：全施工のうち約25%\*
- ・気密測定サービス：全施工のうち40%

	FY2024					FY2025					FY2026（予想）				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	2,985	3,276	3,421	4,020	13,704	3,669	3,879	3,751	4,465	15,765	3,765	4,225	4,075	5,031	17,097
売上総利益	730	777	778	909	3,196	803	852	825	1,076	3,557	830	944	964	1,217	3,955
施工棟数（YoY）	△11%	△1%	△0%	+9%	△1%	+22%	+16%	+5%	+4%	+11%	△3%	+4%	+4%	+11%	+5%
施工単価（YoY）	+5%	+1%	△2%	△2%	+0%	+1%	+2%	+4%	+7%	+4%	+6%	+4%	+4%	+1%	+4%

\*断熱等級は受注時に指定されていないため、本数値は工務店様の商品設計や施工内容をもとに、当社で推定しています。

ネット・ゼロエネルギー・ハウス

## ZEH 2027年 ZEH基準の引き上げ

# GX ZEH

## ZEH基準の定義変更が正式決定

- ・ 2027年4月から適用
- ・ 断熱等級 6
- ・  $BEI \leq 0.65$



### ZEH 2027年 ZEH基準の引き上げ

#### 断熱性能（等級 5 ▶ 等級 6）

マンション等集合住宅（ZEH-M）にも適用

		誘導基準			最高等級	
等級 1	等級 2	等級 3	等級 4	等級 5	等級 6	等級 7
6 地域 (東京他)	UA値 1.67	UA値 1.54	UA値 0.87	UA値 0.60	UA値 0.46	UA値 0.26
6 地域 (東京他)		$\eta$ AC値 3.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8
				ZEH 現行基準	HEAT20 G2	HEAT20 G3
					ZEH 新基準	

#### 断熱性能等級

UA値 = 外皮平均熱貫流率  
ユージー  
(建物からの熱の逃げやすさ)

×

$\eta$  AC値 = 冷房期の平均日射熱取得率  
イータエーシー  
(建物への日射熱の入りやすさ)

出所：国土交通省「住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能表示制度」をもとに当社作成



### ZEH 2027年 ZEH基準の引き上げ

#### エネルギー消費性能（等級 7、8 を新設）

マンション等集合住宅（ZEH-M）にも適用

		戸建住宅の誘導基準*			建築物の誘導水準*	
等級 1	等級 3 既存のみ	等級 4	等級 5	等級 6	等級 7 新設予定	等級 8 新設予定
	BEI 1.10以下	BEI 1.00以下	BEI 0.90以下	BEI 0.80以下	BEI 0.70以下	BEI 0.65以下
				ZEH 現行基準	ZEB 用途で異なる	ZEB 用途で異なる
					ZEH 新基準	

#### 一次エネルギー消費量等級

設計一次エネルギー消費量  
(省エネ手法を考慮したエネルギー消費量)  
 $BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量}}{\text{基準一次エネルギー消費量}}$   
(標準的な仕様を採用した場合のエネルギー消費量)

\*誘導基準とは  
省エネ性能の向上の促進を誘導すべき基準で、省エネ性能向上計画の認定に当たって適合しなければなら  
ないエネルギー消費性能とされている。建築物省エネ法に基づいて定められている。2016年4月1日から施行。

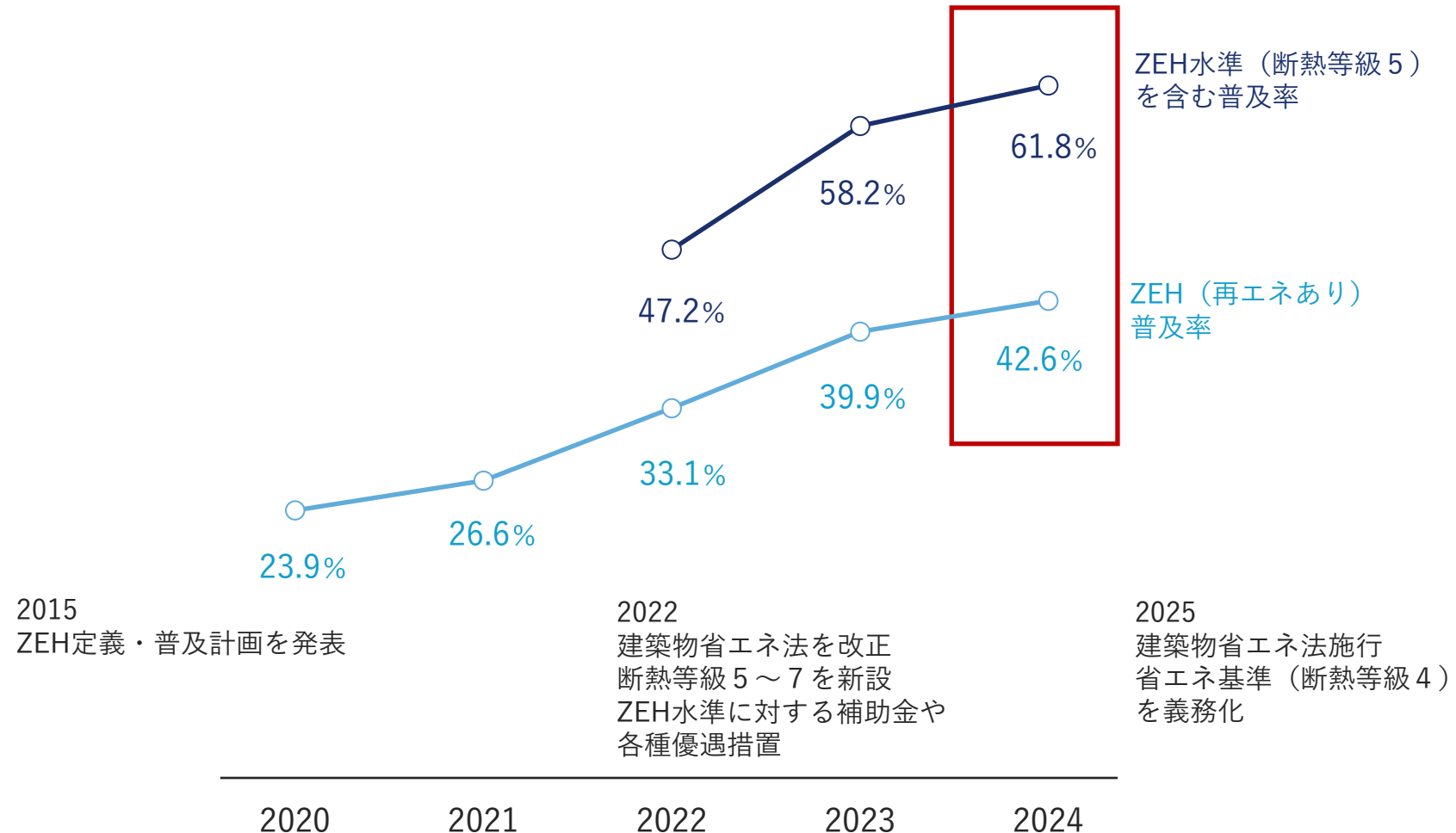
出所：国土交通省「住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく住宅性能表示制度」をもとに当社作成



# ZEH（断熱等級5）普及の 振り返り

2022年以降  
補助金や各種優遇措置の後押しにより  
ZEHは急速に普及

当社では、2024年時点で断熱等級5の  
施工が全体の9割超





取り組み



## まるっとアクアフォーム

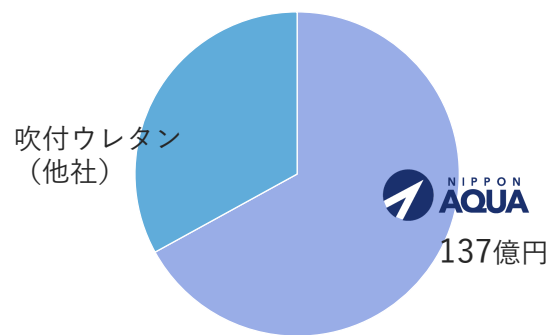
- ・一棟の断熱材をワンストップ提供
- ・一棟ごとに最適な断熱プランを提案



## 事業基盤の広域化（断熱ボード市場への進出）

現場発泡ウレタン施工

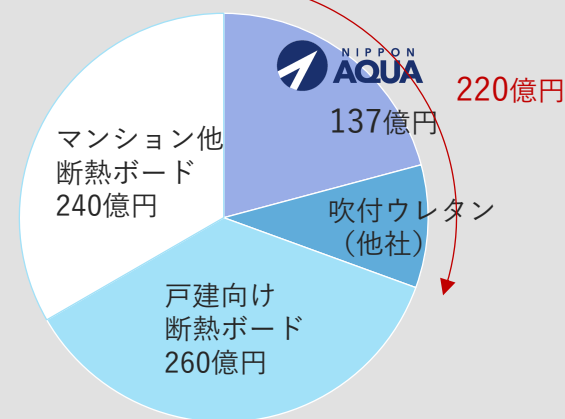
市場規模 220億円



- ・価格優位性、施工力（人材確保）が強み
- ・原料開発からリサイクルまでの一貫体制

現場発泡ウレタン施工 + 断熱ボード

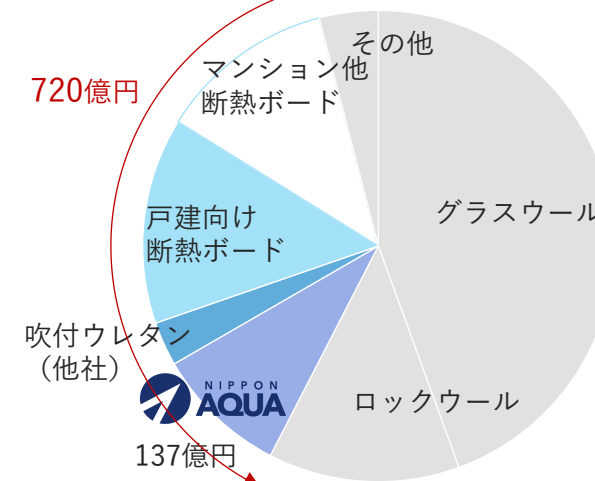
市場規模 720億円



- ・日本アクア：断熱ボードには未着手
- ・ビルダー・工務店向けの営業力を活かし、断熱ボードの仕入・販売を開始

住宅向け断熱材市場

市場規模 1,900億円



- ・上位等級や気密性能へのニーズが高まる
- ・アクアフォームの商品特性を活かし、他の断熱材からの切り替えを促進

# 建築物部門

2025年12月期	前年	9,499 百万円		
	前年比	+397 百万円	+4.2 %	
9,896 百万円	売上総利益率	24.5 %	▶	23.8 %

2026年12月期予想	前年	9,896 百万円		
	前年比	+1,051 百万円	+10.6 %	
10,948 百万円	売上総利益率	23.8 %	▶	19.8 %

## 取り組み



- ・数量効果は349百万円
- ・価格効果は47百万円
- ・製造設備等の大型物件は着実に受注
- ・一部案件で設計変更や着工判断の遅れが影響
- ・建設費用高騰の影響を受けアクアモエンNEO施工数が限定的
- ・建築工事管理部新設により現場での付加価値が向上

## 主な大型物件



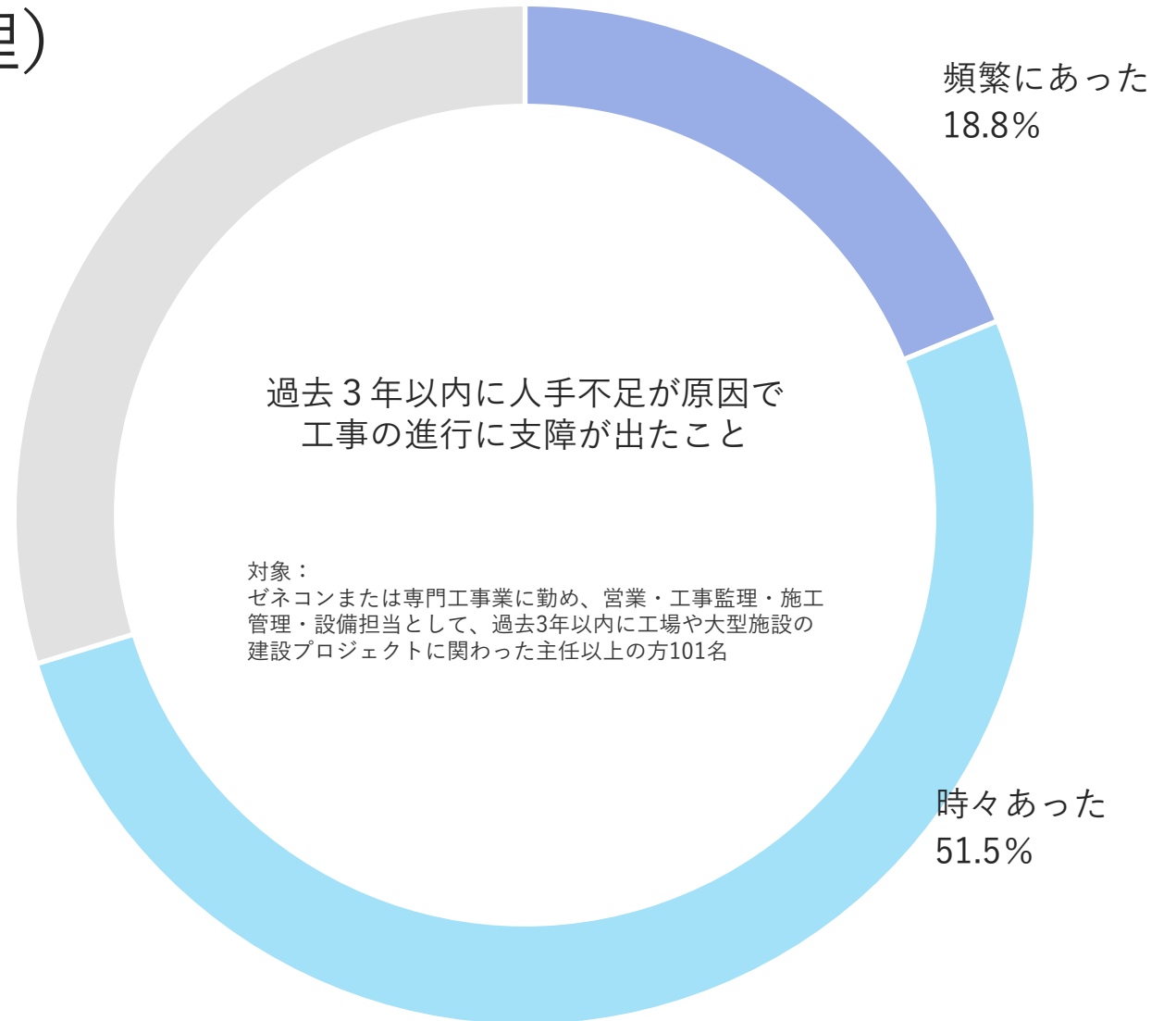
- ・国内を代表する大規模な半導体工場
- ・関東や九州のデータセンター

- ・数量効果・価格効果  
施工厚増加に伴い、従来の「面積×単価」では実態を反映させにくいため、非開示とします
- ・首都圏以外では大型物件が一時減少、2026年後半から回復見込み
- ・中小型物件の獲得に注力
- ・工場やデータセンター分野では案件が堅調
- ・大型物件の減少に伴いアクアモエンNEO工事も足踏み
- ・建築工事管理部による現場での付加価値提案を積極化
- ・東京都の大型再開発物件
- ・中部地方の最新製造設備

	FY2024					FY2025					FY2026（予想）				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	1,929	2,064	2,460	3,044	9,499	2,362	2,453	2,395	2,684	9,896	1,980	2,294	2,779	3,894	10,948
売上総利益	454	443	583	847	2,329	520	549	559	723	2,353	372	457	559	777	2,167

# 大型工事の着工遅延（報道整理）

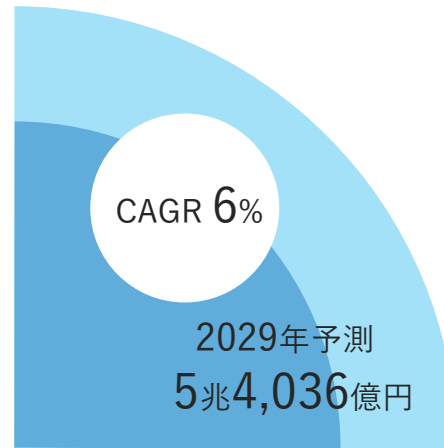
- ・ 建設業界では人手不足を背景に、2026年度内の大型工事受注は困難との見方が多数
- ・ 既受注案件においても、工期遅延リスクが顕在化
- ・ 設備工事分野を中心に、専門人材・協力会社の不足が継続
- ・ 受注余力の低下が、民間設備投資や公共工事の制約要因に





市場環境

## 重点市場



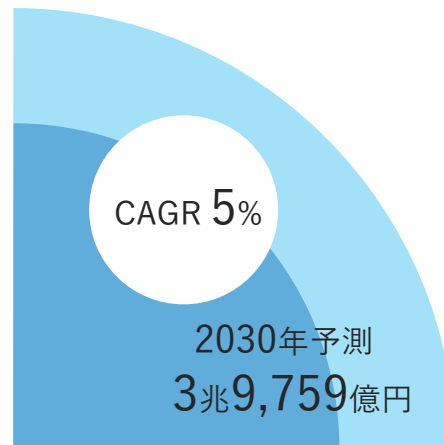
### データセンター市場

低PUE\*化に伴う高断熱ニーズ

\*施設全体の消費電力 ÷ IT機器の消費電力 = 1.0に近づける

- ・ 1拠点あたりの開発規模の大規模化
- ・ クラウドサービスの拡大が市場拡大を牽引
- ・ 一般企業を中心とした生成AIへの投資増加

出所：株式会社富士キメラ総研「データセンタービジネス市場調査総覧 2025年版 市場編」をもとに当社作成



### コールドチェーン市場

冷却効率の維持とエネルギー消費の最小化

- ・ 冷凍食品市場の拡大
- ・ 医薬品・ワクチン等の温度管理需要の増加
- ・ インフラ老朽化に伴う断熱性能の更新ニーズ

出所：Mordor Intelligence「日本のコールドチェーン物流市場規模・シェア 分析-成長動向と予測」をもとに当社作成

# 防水部門

2025年12月期 前年 719 百万円  
 1,515 百万円 前年比 +795 百万円 +110.5 %  
 売上総利益率 △3.1 % ▶ 14.7 %

2026年12月期予想 前年 1,515 百万円  
 2,096 百万円 前年比 +580 百万円 +38.3 %  
 売上総利益率 14.7 % ▶ 19.9 %

## 取り組み



- ・施工実績の積み上げによる認知度向上
- ・展示会での営業強化
- ・施設オーナーへの直接営業
- ・防水事業部の人員増強（体制強化）

## 主な大型物件



- ・サードパーティロジスティクス
- ・大手建材メーカー主力工場（FUKUGEN工法）
- ・小売チェーン店
- ・賃貸集合住宅

- ・防水と断熱・遮熱を組み合わせた「FUKUGEN工法」で差別化
- ・展示会での営業強化
- ・施設オーナーへの直接営業
- ・設計事務所やゼネコンへの営業強化

- ・サードパーティロジスティクス
- ・大手メーカー主力工場（建材、輸送用機器、半導体）
- ・小売チェーン店
- ・賃貸集合住宅
- ・国家的重要施設

	FY2024					FY2025					FY2026（予想）				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高	136	124	174	284	719	159	466	485	404	1,515	249	509	574	762	2,096
うち戸建住宅	110	93	85	144	434	98	130	123	111	463	100	100	100	100	400
うち非住宅	25	31	88	139	285	60	336	361	293	1,051	149	409	474	662	1,696
売上総利益	2	△10	0	△15	△22	12	47	89	74	223	48	100	113	153	415





# FUKUGEN工法

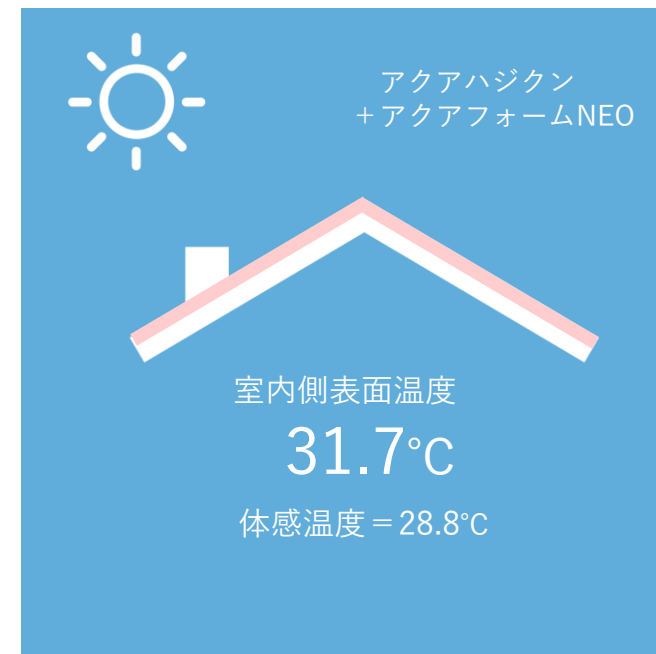
雨漏りと日射対策を同時に実現



※建物外表面温度および室内側表面温度は与条件におけるシミュレーション結果であり、実際の各温度を保証するものではありません。※建物外表面の熱授受計算：井上書院「最新建築環境工学 改定3版」田中俊六・武田仁・土屋喬雄・岩田利枝・寺尾道仁共著 6.建築伝熱 6-3.建物外表面の熱授受(1)外壁面の熱授受とSAT※室外側表面熱伝達率25 (W/m<sup>2</sup>・K) ※室内側表面熱伝達率11 (W/m<sup>2</sup>・K) ※体感温度 ≡ (表面温度 + 室温) ÷ 2 により簡易的に算出した目安となります。実際の体感温度を保証するものではありません。



予条件  
※熱貫流率計算：スレート熱伝導率  $\lambda = 1.000$  (W/m<sup>2</sup>・K) ※建物外表面の熱授受（日射吸収）：日射吸収係数  $A_s = 0.85$



予条件  
※熱貫流率計算：スレート熱伝導率  $\lambda = 1.000$  (W/m<sup>2</sup>・K)、断熱材  $\lambda = 0.026$  (W/m<sup>2</sup>・K) ※建物外表面の熱授受（日射吸収）：日射吸収係数  $A_s = 0.60$



## 非住宅分野で広がる防水施工実績



全国展開する物流倉庫



鉄道会社の車両基地



高層ビルの屋上大広場



国内有数の重工系製造拠点



老舗和菓子店の主力工場



青果向け低温倉庫



大型スーパーマーケット



国家的重要施設

## 原料販売



2025年12月期	前年	2,226 百万円		
2,072 百万円	前年比	△154 百万円	△6.9 %	
	売上総利益率	16.7 %	▶	19.8 %

- ・建築物の着工判断の遅れ等の影響により原料販売も足踏み

2026年12月期予想	前年	2,072 百万円		
2,377 百万円	前年比	+305 百万円	+14.7 %	
	売上総利益率	19.8 %	▶	21.4 %

- ・建築物市場は2026年後半から回復見込み

## 副資材・機械 その他



2025年12月期	前年	4,115 百万円		
4,420 百万円	前年比	+305 百万円	+7.4 %	
	売上総利益率	23.9 %	▶	27.0 %

- ・施工体制拡大に伴う機械販売が堅調
- ・戸建部門の好調を受け副資材販売が伸張

2026年12月期予想	前年	4,420 百万円		
4,480 百万円	前年比	+59 百万円	+1.4 %	
	売上総利益率	27.0 %	▶	25.2 %

- ・「まるっとアクアフォーム」推進で断熱ボード増加
- ・セールスマックスの変化により利益率低下
- ・副資材販売は継続伸長

	FY2024					FY2025					FY2026（予想）				
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
原料販売	414	507	510	794	2,226	394	490	535	652	2,072	443	545	634	754	2,377
売上総利益	74	89	89	118	372	78	93	109	128	409	94	116	135	161	508
副資材・機械・その他	807	866	1,137	1,303	4,115	916	1,192	1,137	1,174	4,420	841	1,067	1,141	1,429	4,480
売上総利益	181	162	312	328	984	219	316	315	344	1,195	197	265	297	370	1,130





今後もプライム上場企業として  
持続的成長の実現を目指します。



---

## Agenda

- 01 2025年12月期 決算概要
- 02 2026年12月期 予想
- 03 部門別業績と今後の展開
- 04 Appendix

# 会社概要

経営理念  
人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献

ビジョン  
我々は、断熱技術の革新によりエネルギー総需要を削減し、地球温暖化防止対策と同時に、人々の健康で快適な生活を実現するために存在している。

会社名	株式会社日本アクア（Nippon Aqua Co., Ltd.）	
本店所在地	東京都港区港南2丁目16-2 太陽生命品川ビル20階	
設立年月日	2004年11月29日	
事業内容	建築断熱用硬質ウレタンフォームの開発・製造・販売・施工 住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売	
役員	代表取締役社長	中村 文隆
	専務取締役	村上 友香
	常務取締役	永田 和久
	取締役	藤井 豪二
	取締役	宇佐美 計史
	社外取締役	剣持 健
	社外取締役	小松 健次
	社外取締役 常勤監査等委員	内海 統之
	社外取締役 監査等委員	杢田 由貴
	社外取締役 監査等委員	樋口 尚文
	社外取締役 監査等委員	仁科 秀隆
資本金	19億3百万円	
従業員数	710名（単体）	

# 商品展開

## 2 液性ポリウレタンを軸に展開

### ポリオール

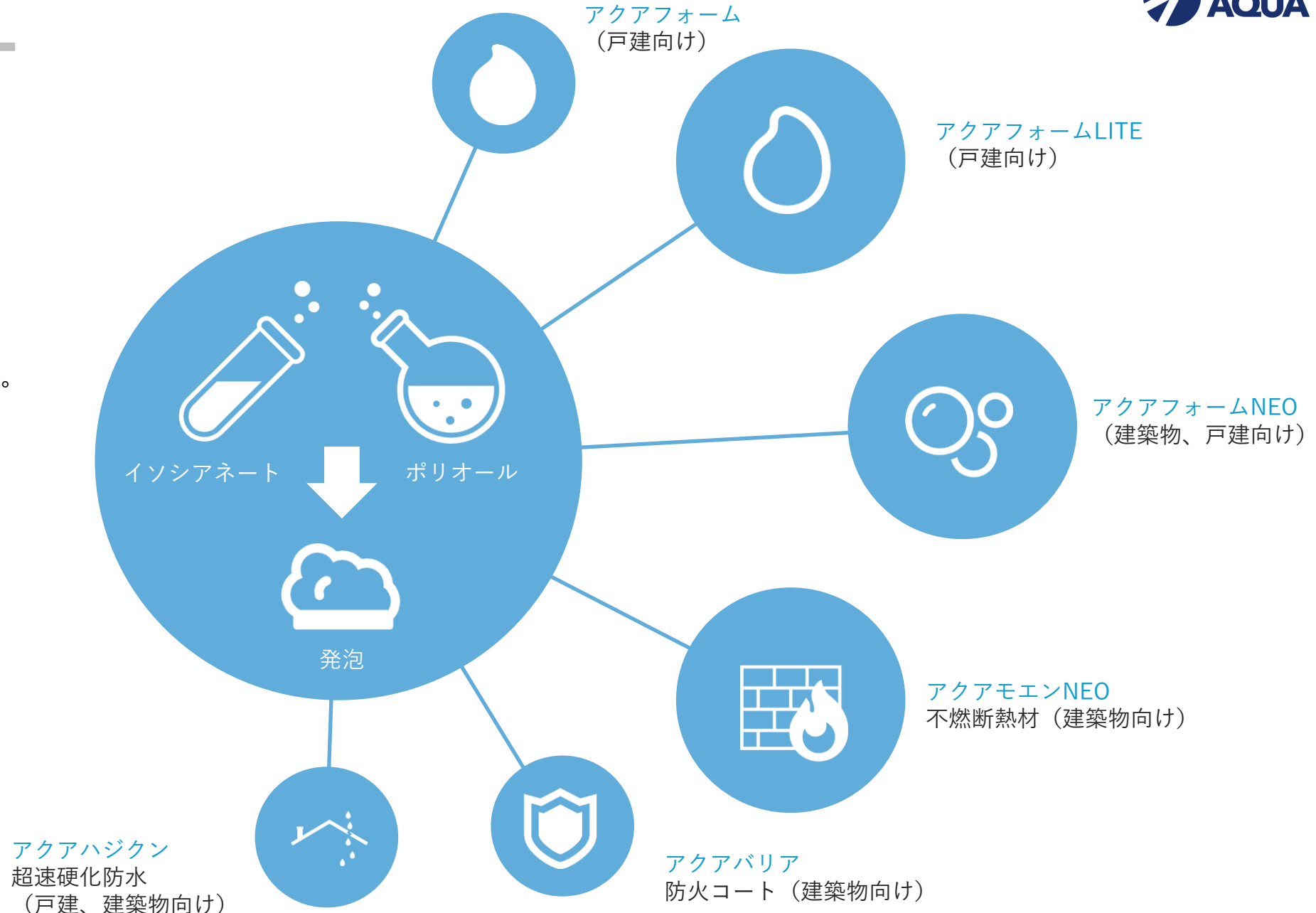
主剤となる水酸基を持つ有機化合物。ポリオールの分子構造や分子量などを変更することで、ウレタンの硬さや柔軟性などの物性を調整する。

### イソシアネート

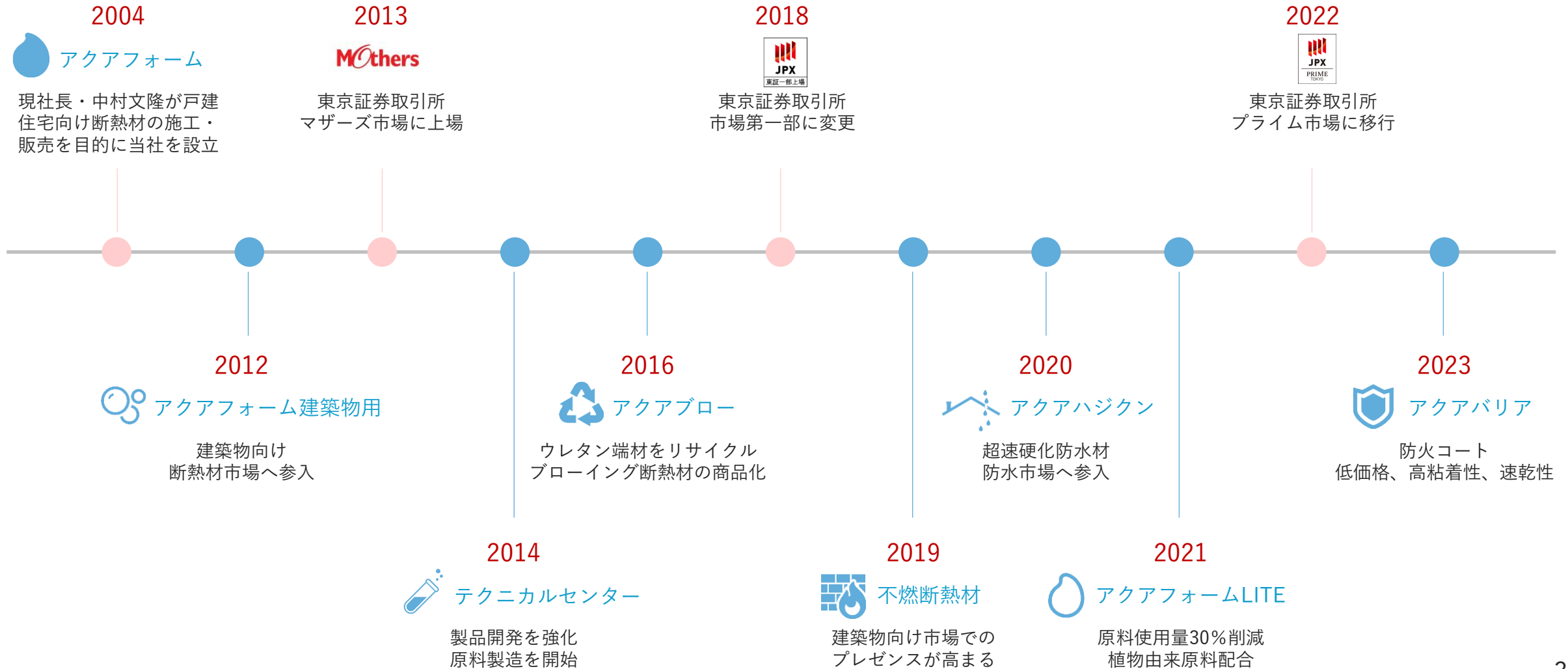
NCO基を含む有機化合物。攪拌などによってポリオールと反応しウレタン結合を形成。

### ポリアミン

複数のアミン基を持つ有機化合物。イソシアネートと反応することでアクアハジクン（ポリウレタ樹脂）を形成。



# 沿革



# 原料開発から 施工・リサイクルまで

唯一無二のビジネスモデル





# ビジネススキーム

断熱材の工事は当社が一括して請け負い  
自社及び認定施工店で施工



# 認定施工店とは

業務委託  
完全歩合制

吹付機械（施工機材）の購入  
（2トントラックが必要）



営業不要

施工レベルに応じた  
工事物件を紹介



ロイヤリティなし

加盟金、保証金はありません



原料を有償支給

原料を支給し施工金額から  
差し引くことで資金負担を軽減



技術研修

育成専門部署が  
基礎から実践まで幅広くサポート

# 業績推移

(単位：百万円)

**Mothers**



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
業績推移													
売上高	9,825	13,020	14,046	15,608	18,052	19,417	21,366	21,872	23,903	25,670	28,341	30,265	33,670
売上総利益	2,444	2,856	3,137	4,027	4,305	3,891	5,403	5,310	4,739	5,784	6,924	6,862	7,738
売上総利益率	24.9%	21.9%	22.3%	25.8%	23.9%	20.0%	25.3%	24.3%	19.8%	22.5%	24.4%	22.7%	23.0%
営業利益	956	944	1,013	1,404	1,313	766	1,909	1,896	1,412	2,329	2,875	2,575	2,774
経常利益	925	937	1,016	1,404	1,419	764	1,909	1,911	1,429	2,359	2,917	2,604	2,794
経常利益率	9.4%	7.2%	7.2%	9.0%	7.9%	3.9%	8.9%	8.7%	6.0%	9.2%	10.3%	8.6%	8.3%
当期純利益	512	529	137	979	941	489	1,275	1,342	953	1,549	2,004	1,839	1,895

## 品目別売上高

戸建	8,044	8,483	9,414	10,903	11,552	12,257	13,244	12,448	13,521	13,873	13,798	13,704	15,765
建築物	883	2,392	2,858	2,601	2,715	3,331	4,144	4,848	5,371	6,838	8,267	9,499	9,896
防水									128	315	489	719	1,515
原料販売					613	561	933	1,137	1,098	1,211	1,916	2,226	2,072
副資材・機械・その他	897	2,144	2,133	2,103	3,171	3,267	3,043	3,438	3,783	3,430	3,869	4,115	4,420

## 品目別売上総利益

戸建			2,305	3,038	2,790	2,217	3,544	3,183	2,772	3,542	3,685	3,196	3,557
建築物			183	419	526	551	832	1,004	822	1,206	1,963	2,329	2,353
防水									20	△16	△35	△22	223
原料販売					140	113	198	212	177	361	342	372	409
副資材・機械・その他			648	569	848	1,009	830	909	946	690	968	984	1,195

# その他の主要な指標

Others



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
資産、負債及び資本													
純資産額	5,103	5,529	5,590	6,663	5,508	5,885	6,843	7,638	7,951	7,966	9,304	10,545	11,633
自己資本利益率 (ROE)	16.6%	10.0%	2.5%	16.0%	15.5%	8.6%	20.0%	18.5%	12.2%	19.5%	23.2%	18.5%	17.1%
総資産額	7,982	9,138	11,254	12,596	12,806	14,381	15,379	16,021	18,279	21,969	20,392	24,071	25,810
総資産回転率 (回)	1.82	1.52	1.38	1.31	1.42	1.43	1.44	1.39	1.39	1.28	1.34	1.36	1.30
自己資本比率	63.9%	60.5%	49.7%	52.9%	43.0%	40.9%	44.5%	47.7%	43.5%	36.3%	45.6%	43.8%	45.1%
有利子負債			1,433	834	2,370	2,776	2,136	2,400	3,166	6,033	2,400	4,500	4,800

## 従業員数

営業	160	184	182	206	233	208	218	218	189	209	215	226	229
工務	234	246	206	185	132	180	188	196	168	156	220	313	402
管理	21	20	35	27	62	57	69	73	81	58	66	73	79
合計	415	450	423	418	427	445	475	487	438	423	501	612	710

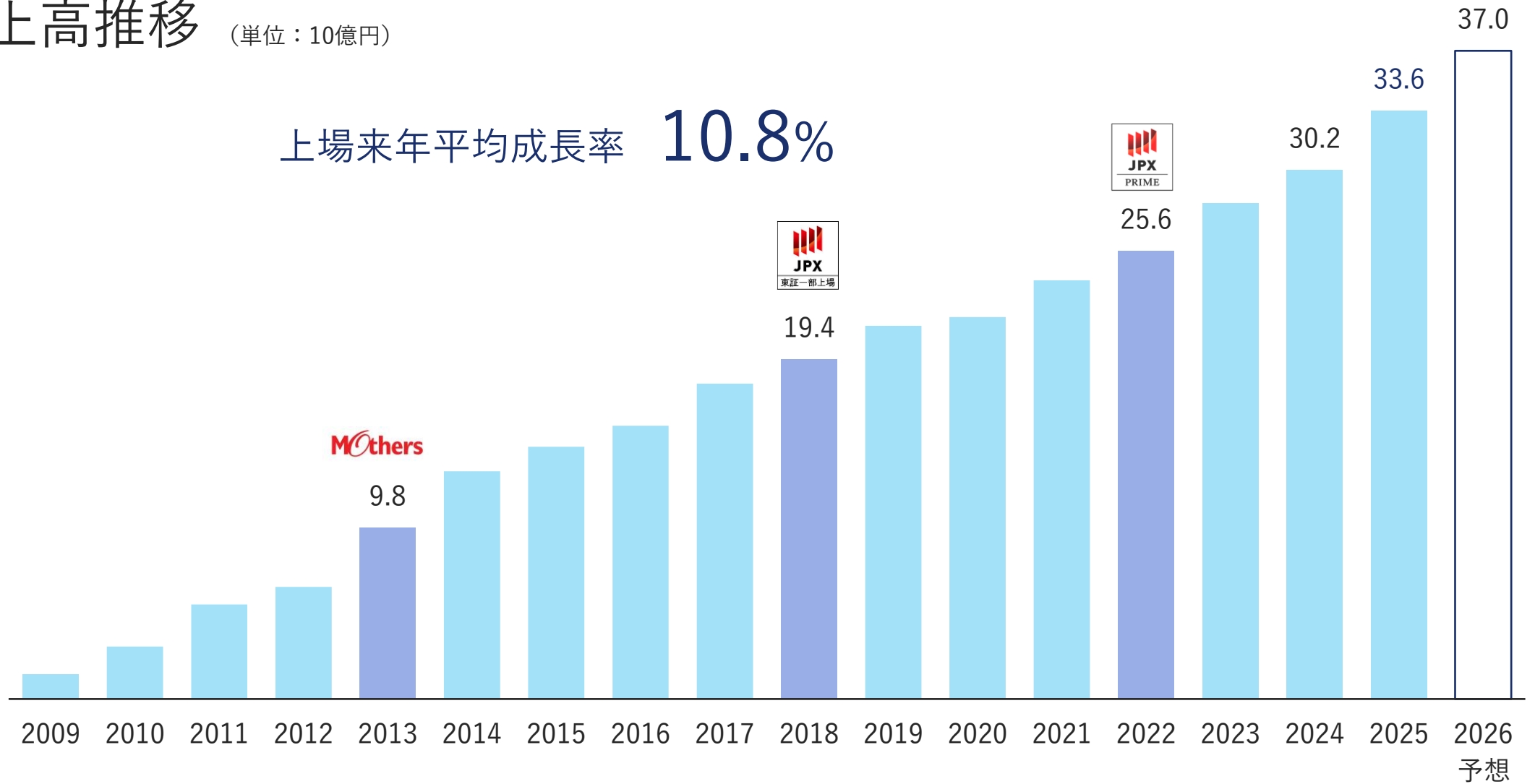
## 株式関係 (2015年1月1日付の1:5分割考慮済)

期末株価 (円)	663	845	438	414	498	437	627	649	687	828	887	772	863
時価総額	22,892	29,176	15,209	14,960	18,038	15,180	21,792	22,559	23,880	28,781	30,832	26,834	29,997
1株当たり純資産 (円)	147.81	160.15	161.01	184.40	171.31	182.36	211.88	236.46	246.09	254.41	296.24	330.50	361.17
1株当たり配当金 (円)	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	10.00	17.00	20.00	20.00	24.00	32.00	34.00	35.00
1株当たり当期純利益 (円)	20.61	15.33	3.97	27.61	27.84	15.19	39.50	41.57	29.52	47.99	63.83	58.55	59.42
株価収益率 (PER) (倍)	32.20	55.10	110.30	15.00	17.90	28.80	15.90	15.60	23.30	17.30	13.90	13.19	14.52

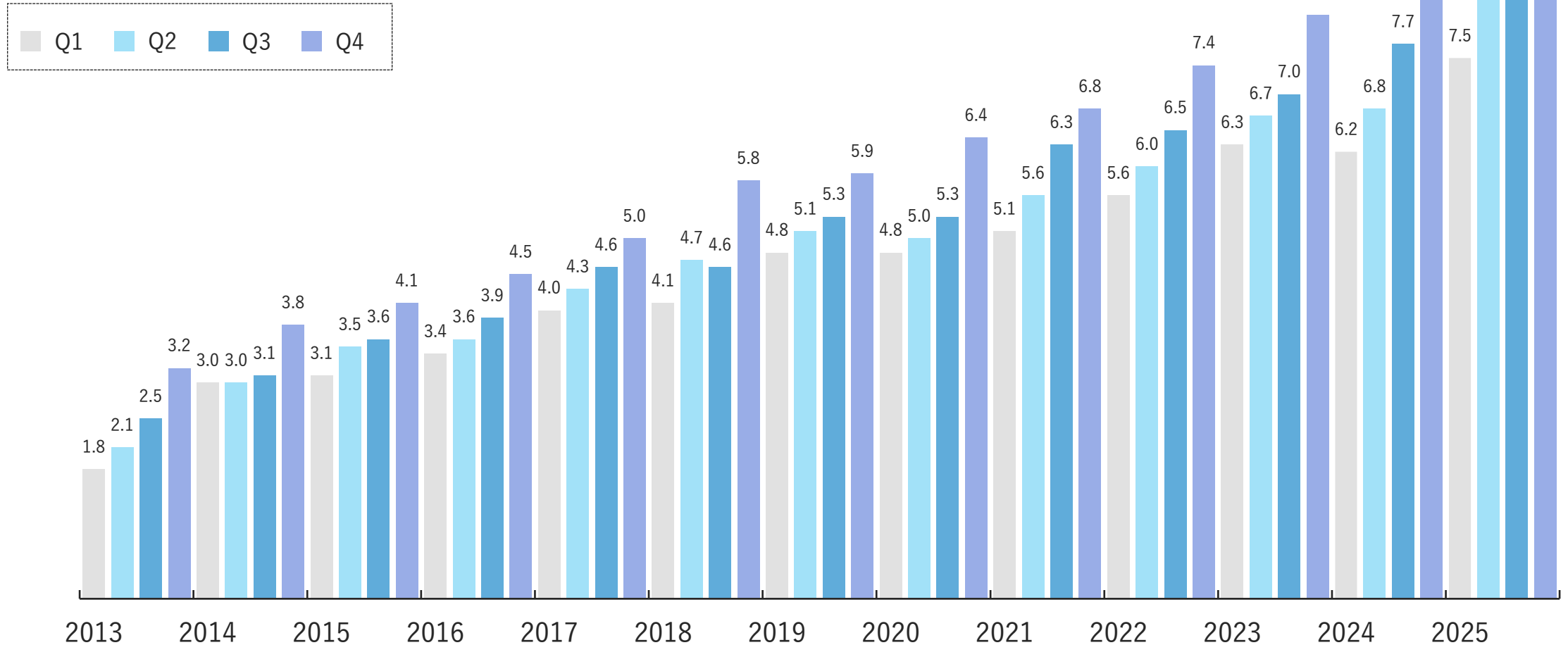
# 売上高推移

(単位：10億円)

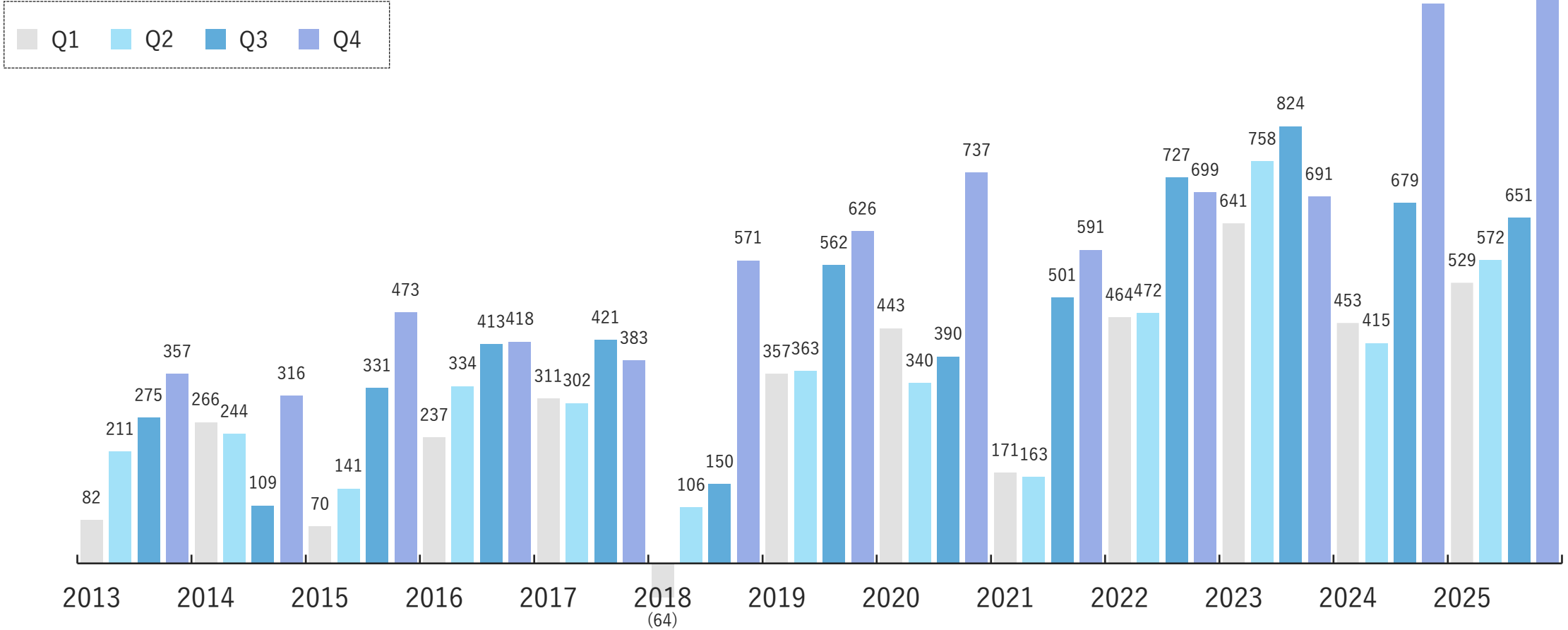
上場来年平均成長率 **10.8%**



# 四半期売上高推移 (単位：10億円)



# 四半期経常利益推移 (単位：百万円)





市場環境

## 脱炭素社会に向けた 住宅・建築物

2030年度46%削減目標

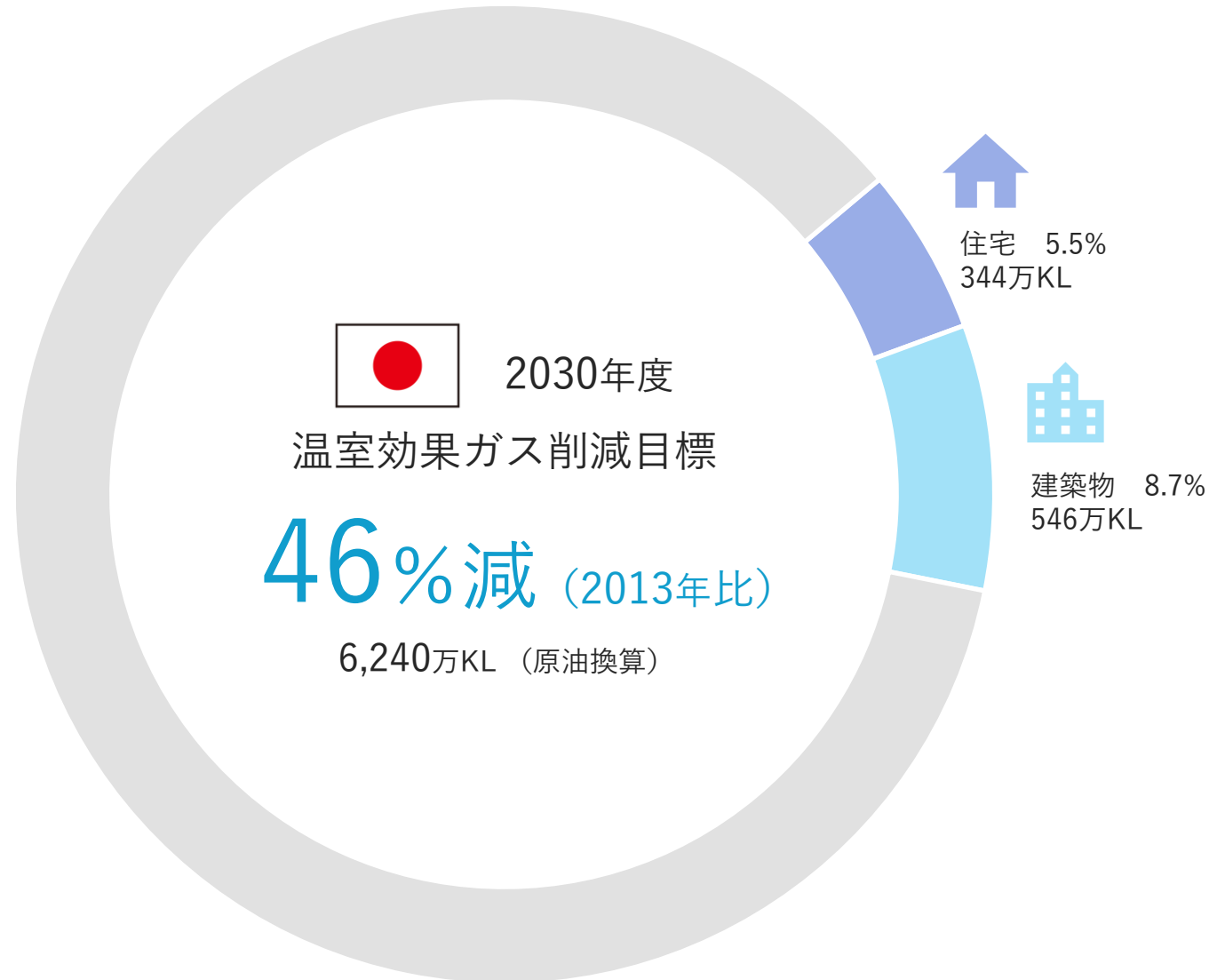
・原油換算で6,240万KLの削減

うち住宅

- ・新築住宅における省エネルギー性能の向上 253万KL
- ・既存住宅の断熱改修 91万KL

うち建築物

- ・新築建築物における省エネルギー性能の向上 403万KL
- ・既存建築物の省エネルギー化及び改修 143万KL







市場環境

## 2030年に目指すべき 住宅・建築物の姿



新築の住宅・建築物

ZEH、ZEB水準の省エネ性能を確保



新築の戸建住宅

60%において太陽光発電設備を導入



義務基準をZEH水準まで引き上げ

断熱等性能等級 5 （6 地域のUA値 = 0.60）  
BEI = 0.8



義務基準をZEB水準まで引き上げ

中大規模は用途に応じてBEI = 0.6/0.7  
小規模はBEI = 0.8



融資や税制による支援



省エネ性能表示の施行



地方自治体による推進



機器や建材の性能向上

# 省エネ住宅\*の実現には

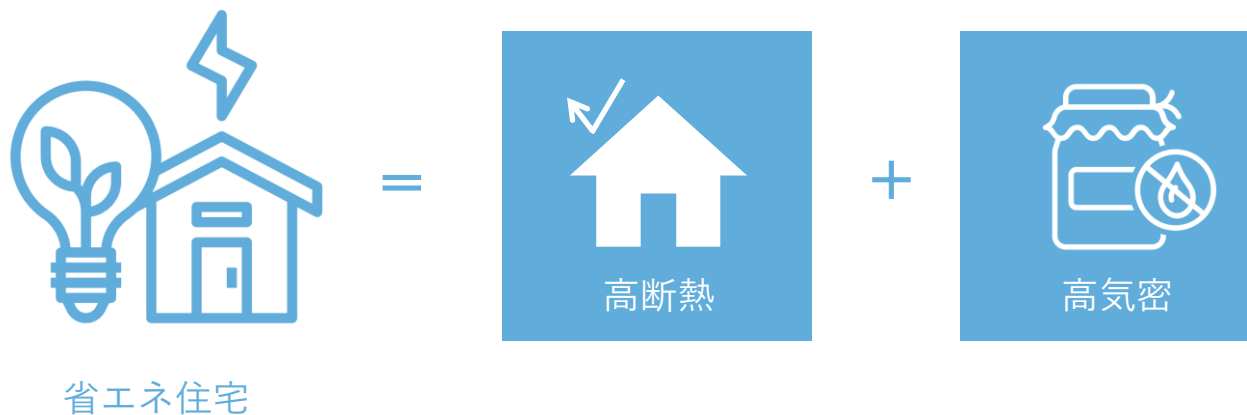
\*エネルギー消費が少なくても快適に過ごせる住宅

## 高断熱（断熱性能）

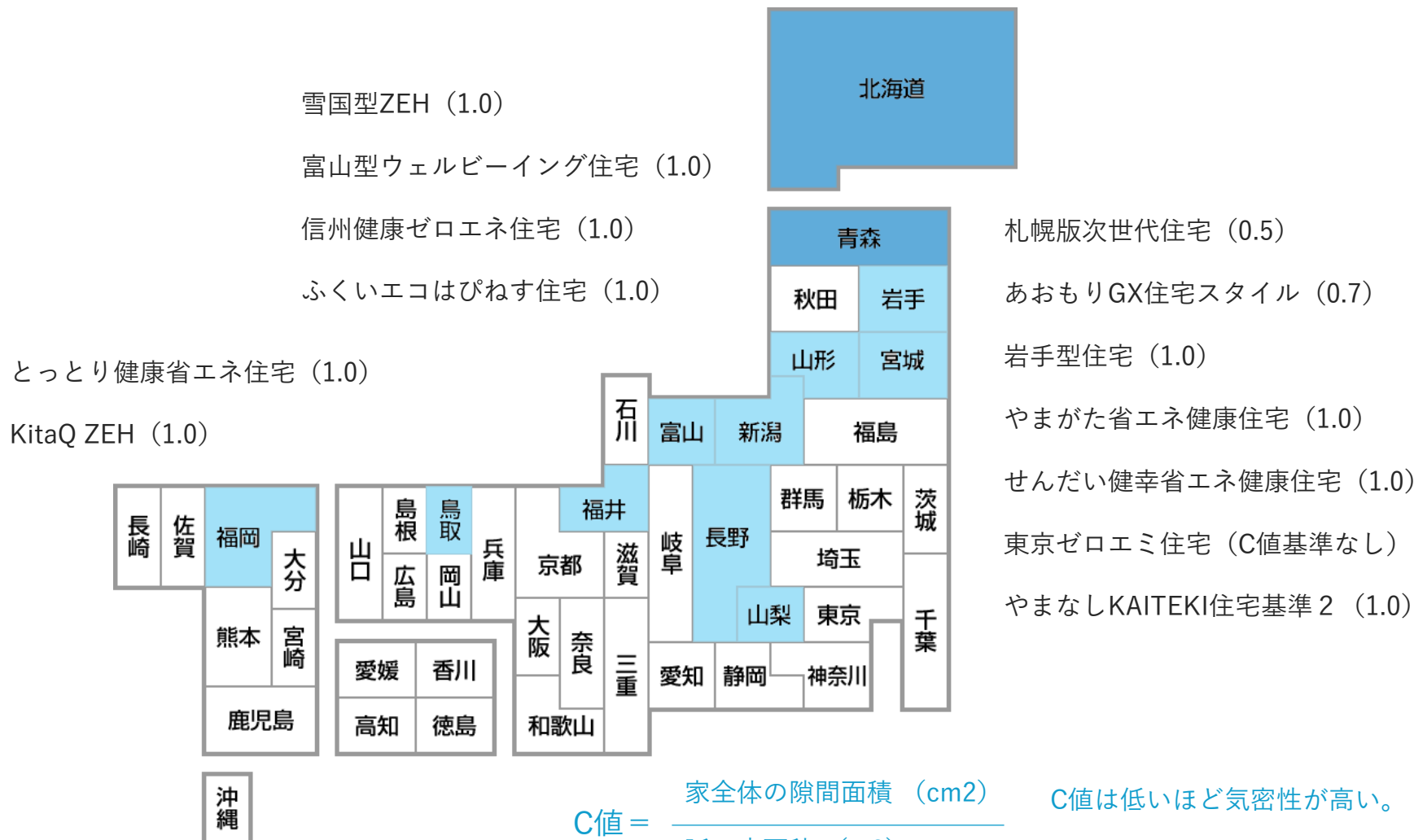
高断熱材を使用し外部からの熱の侵入を防ぐ。これにより、冷暖房のエネルギー効率が向上し、居住空間内の温度を安定させる。

## 高气密（気密性能）

建物の気密性を高めることで、外部からの空気の流入や逃げを最小限にする。これにより、断熱性能を最大限に活かし、エネルギーの無駄を減少させる。



# 自治体独自の気密性能に関する規定



C値 ≤ 10.0

気密性に配慮していない一般的な住宅のイメージ。

C値 ≤ 5.0

次世代省エネ基準 (1999年) において、寒冷地 (現在の1地域、2地域) 以外で基準とされていた値。

2009年の省エネ法改正に伴い本基準は撤廃。

C値 ≤ 2.0

次世代省エネ基準 (1999年) において、寒冷地 (現在の1地域、2地域) で基準とされていた値。

2009年の省エネ法改正に伴い本基準は撤廃。

C値 ≤ 1.0

快適に暮らすために確保しておきたい水準。地方自治体の省エネ住宅施策で規定されているケースが多い。

C値 ≤ 0.5

諸外国で採用している厳しい基準をと比較しても遜色のない高い気密性を有する水準。

# 快適さに直結する 気密性能の違い

- ・天井に断熱追加
- ・内窓設置
- ・床に断熱+気密（ウレタンフォーム施工）



断熱+気密改修前

室内の温度にムラがある。（青色は温度が低い）  
気密処理が不十分なため冷たい外気が侵入してくる。



断熱+気密改修後

室内の温度差が少ない。  
丁寧な気密処理を行ったため熱損失が少ない。

# 断熱地域区分と 断熱等性能等級

## 外皮性能レベル

戸建住宅の断熱等性能等級（以下、断熱等級）の上位化およびZEHの普及が当社に与える影響。

断熱等級の基準は全国统一されたものではなく、気候などにより地域が区分されている。（各地域については代表都市を参考）

東京、名古屋、大阪、横浜、神戸など大都市の多くは6地域。

同じ断熱等級5でも地域によってUA値（外皮平均熱貫流率）は異なり、数字が小さい方が高い断熱性能を求められる。



アクアフォームNEO

付加断熱が  
必要な場合もあり

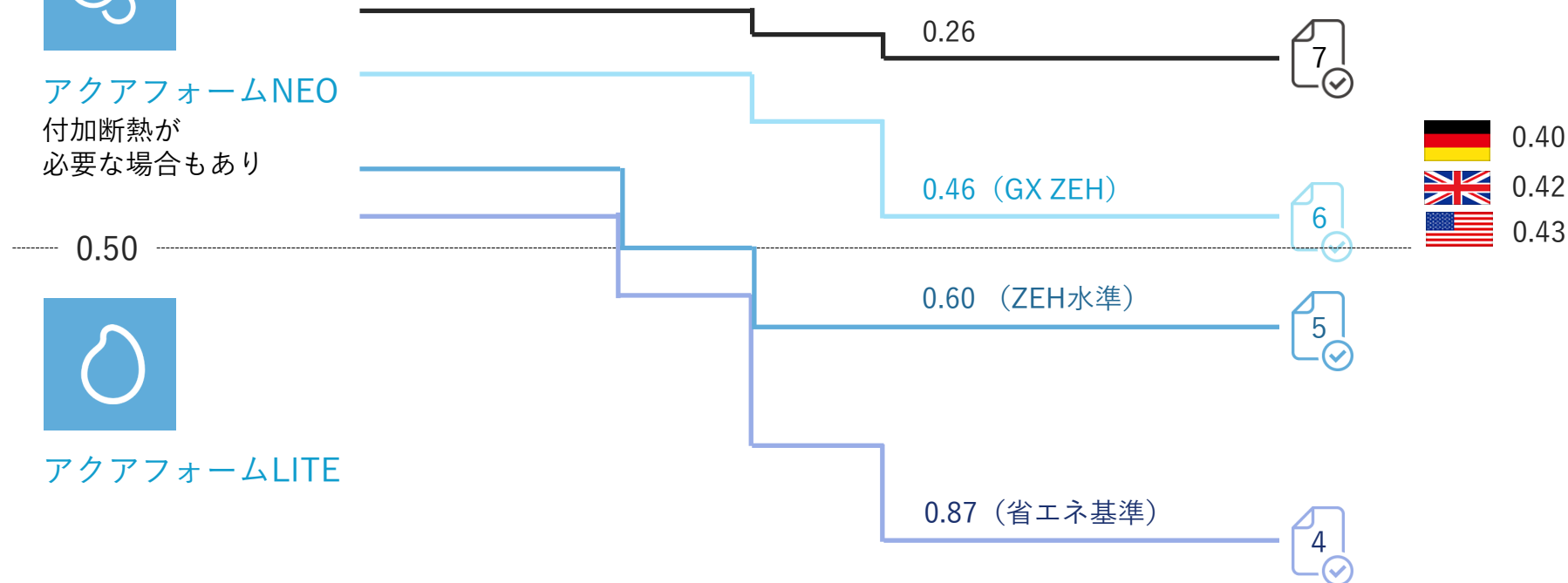


アクアフォームLITE

（単位：UA値）

1 地域	2 地域	3 地域	4 地域	5 地域	6 地域	7 地域	8 地域
夕張	札幌	盛岡	会津若松	水戸	東京	熊本	沖縄

断熱等級



## 断熱性能（等級 5 ▶ 等級 6）

マンション等集合住宅（ZEH-M）にも適用

					誘導基準		最高等級
	等級 1	等級 2	等級 3	等級 4	等級 5	等級 6	等級 7
6 地域 (東京他)		UA値 1.67	UA値 1.54	UA値 0.87	UA値 0.60	UA値 0.46	UA値 0.26
6 地域 (東京他)			$\eta$ AC値 3.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8	$\eta$ AC値 2.8
断熱等性能等級					ZEH 現行基準	HEAT20 G2	HEAT20 G3
							ZEH 新基準

UA値 = 外皮平均熱貫流率  
ユ-エー (建物からの熱の逃げやすさ)

UA値 = 外皮平均熱貫流率  
ユーエー (建物からの熱の逃げやすさ)

×

$\eta$  AC値 = 冷房期の平均日射熱取得率  
イーターエーシー (建物への日射熱の入りやすさ)

## エネルギー消費性能（等級 7、 8 を新設）

マンション等集合住宅（ZEH-M）にも適用



### 一次エネルギー消費量等級

$$BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量} \\ (\text{省エネ手法を考慮したエネルギー消費量})}{\text{基準一次エネルギー消費量} \\ (\text{標準的な仕様を採用した場合のエネルギー消費量})}$$

\*誘導基準とは

省エネ性能の向上の促進を誘導すべき基準で、省エネ性能向上計画の認定に当たって適合しなければならないエネルギー消費性能とされている。建築物省エネ法に基づいて定められている。2016年4月1日から施行。



## 断熱性能等級による仕様への影響

東京都など6地域



断熱等級4  
省エネ基準



アクアフォームLITE



金属 複層 Low-E



断熱玄関ドア

断熱等級が上位化すると断熱材だけでなく、ドアやサッシの断熱性能も高める必要があり、省エネ基準（断熱等級4）より施工金額が高額になる。



断熱等級5  
ZEH水準



アクアフォームLITE



アクアフォーム



金属・樹脂 複層 Low-E



断熱玄関ドア

当社の試算では東京都など6地域における標準的な戸建住宅の場合、ZEH水準（等級5）になると断熱材の厚みが増すため施工単価は省エネ基準（等級4）の1.2～1.5倍。



断熱等級6  
GX ZEH水準



アクアフォーム\*



アクアフォームNEO



金属・樹脂 三層 Low-E（2枚）



断熱玄関ドア

東京ゼロエミ住宅等（等級6）になるとアクアフォームあるいは、上位製品のアクアフォームNEOを使用、施工単価は省エネ基準（等級4）の1.7～3.0倍。

\*2024年4月からアクアフォームの熱伝導率が変わり断熱性能が向上したため、条件付きながら等級6の仕様が可能となりました。

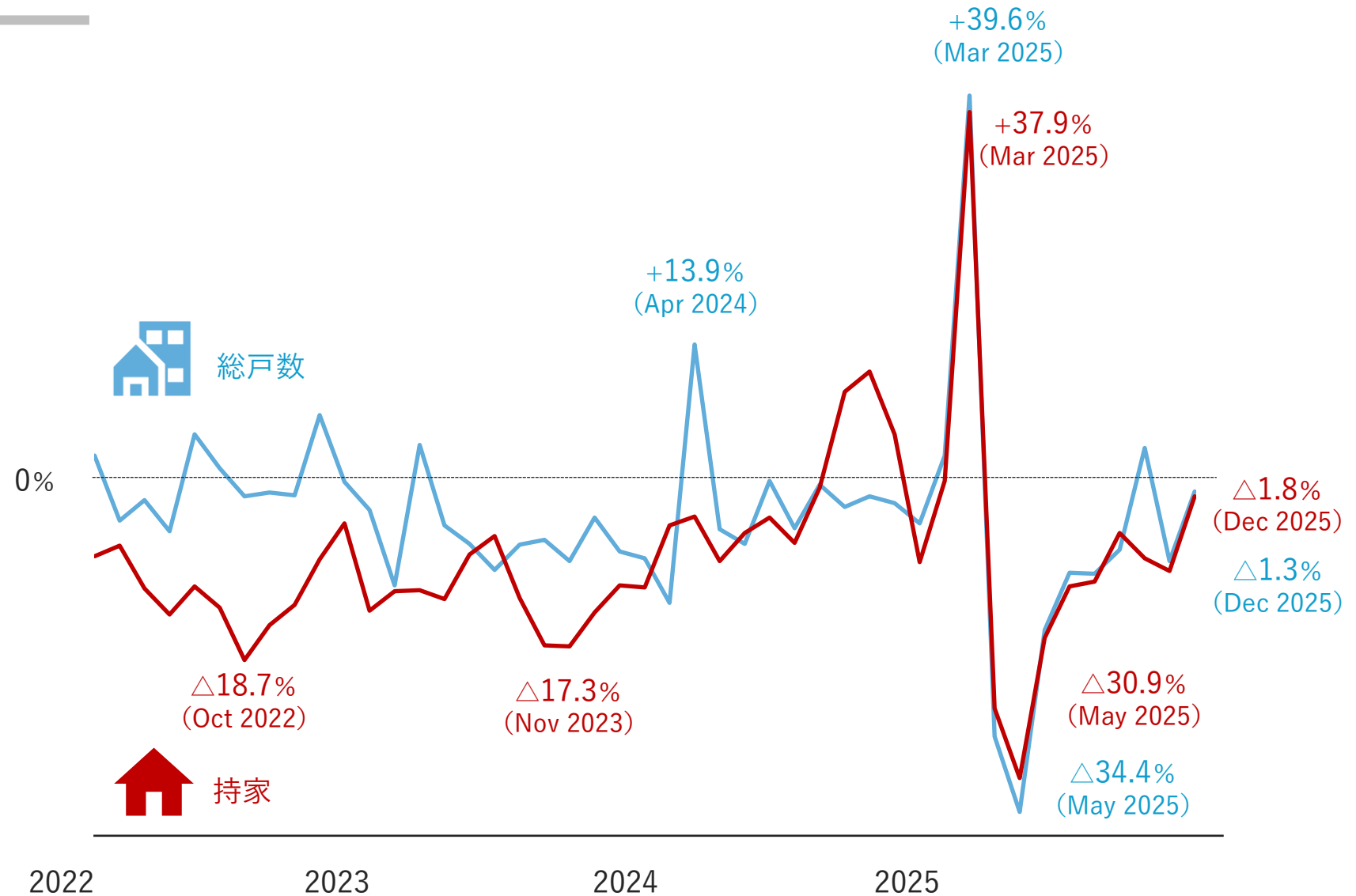


# 新設住宅着工戸数 (前年同期比)

当社の戸建部門は、注文住宅の施工が多いため、持家との親和性が高くなります。

マンションは、総戸数に含まれておりますが、当社では建築物部門に計上しています。

2025年3月～6月の数値の振れ幅が大きい理由は、いわゆる「4号特例の縮小」に起因するものと考えられます。



## お問い合わせ先

経営企画部（担当：小室）  
03-5463-1117  
m.komuro@n-aqua.com

## 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

本資料は、株式会社日本アクアの財務情報・経営情報等に関する情報提供を目的としたものであり、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為を目的とするものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行っていただきますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料には、当社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。また、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来に関する記述を更新、変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

本資料の内容に関する一切の権利は当社に帰属しております。複写及び無断転載はご遠慮ください。